



City of HIROSHIMA

広島市勢要覧

令和 4 年版（2022 年版）

目

contents

次

広島市の概要	1
各区の概要	4
広島市総合計画	12
200 万人広島都市圏構想	14
核兵器廃絶に向けた取組	16
原爆被爆者	18
姉妹・友好都市	19
主要行事・イベント	20
世界一・日本一	21
ザ・広島ブランド、ひろしまそだち	22
名誉市民・特別名誉市民	24
広島の歴史	26
主要年表	33
統計で見る広島市	37
広島市統計プロフィール	47

※広島市統計プロフィールは、小さく折りたたんで携帯することができます。

広島市の概要

● 市章



旧芸州藩の旗印であった「三引き」(三)にヒントを得て、これに川の流れを表現するカーブをつけて、水都広島を象徴したものです。(明治 29 年 5 月 19 日制定)

● 市の木「クスノキ」



原爆から生き残ったクスノキは、いち早くよみがえり、市民に生きる希望と復興への力を与えてくれました。(昭和 48 年 11 月 3 日制定)

● 市の花「キョウチクトウ」



原爆により 75 年間草木も生えないといわれた焦土にいち早く咲いた花で、市民に復興への希望と力を与えてくれました。(昭和 48 年 11 月 3 日制定)

● 人口及び世帯数(令和 4 年 12 月末現在)

区 分	人 口			対前年同月比			世 帯 数
	合計	日本人	外国人	合計	日本人	外国人	
広 島 市	1,184,731人	1,164,745人	19,986人	▲ 0.37%	▲ 0.48%	+6.09%	578,364世帯
中 区	136,435人	132,044人	4,391人	+0.13%	▲ 0.03%	+4.97%	79,613世帯
東 区	118,603人	116,660人	1,943人	▲ 0.53%	▲ 0.61%	+4.35%	57,197世帯
南 区	141,179人	139,049人	2,130人	▲ 0.19%	▲ 0.32%	+9.62%	71,828世帯
西 区	186,779人	182,664人	4,115人	▲ 0.55%	▲ 0.62%	+2.67%	95,484世帯
安佐南区	244,053人	241,512人	2,541人	▲ 0.17%	▲ 0.29%	+13.49%	108,443世帯
安佐北区	139,552人	137,435人	2,117人	▲ 1.11%	▲ 1.20%	+5.11%	65,831世帯
安 芸 区	77,232人	75,752人	1,480人	▲ 0.89%	▲ 1.03%	+6.86%	35,654世帯
佐 伯 区	140,898人	139,629人	1,269人	+0.00%	▲ 0.04%	+5.31%	64,314世帯

(資料:住民基本台帳人口)

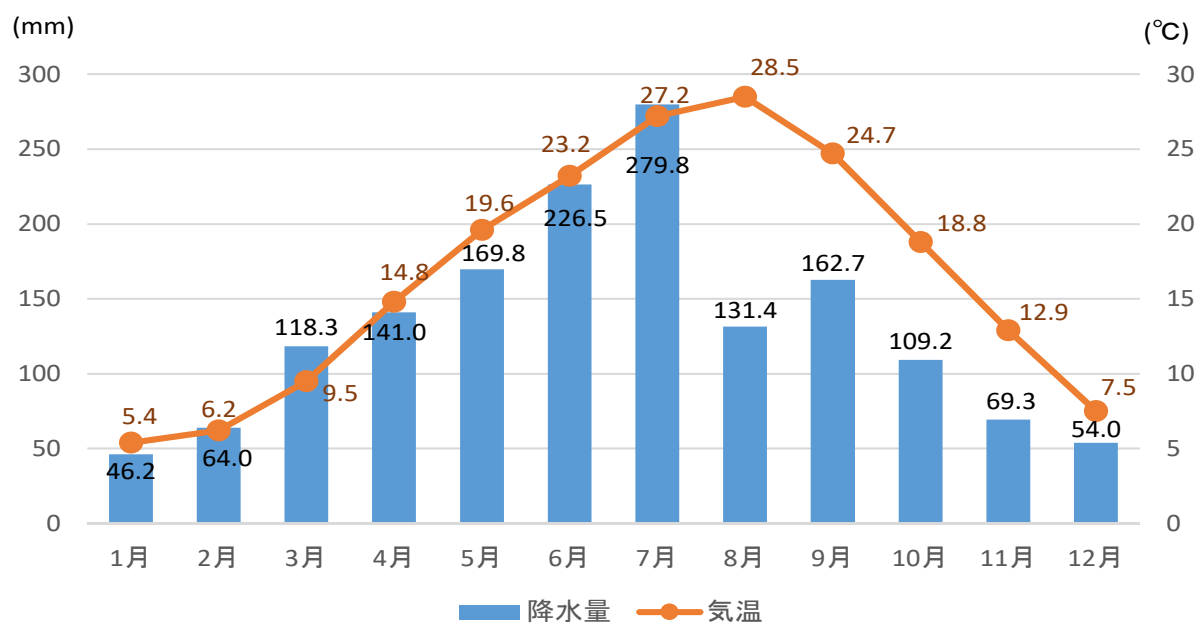
● 年齢 3 区分別人口(令和 4 年 12 月末現在)

区分	若年人口 0～14歳	労働人口 15～64歳	高齢人口 65歳以上	計	高齢化率
広島市	154,001人	722,448人	308,282人	1,184,731人	26.0%
中区	14,782人	87,470人	34,183人	136,435人	25.1%
東区	15,503人	71,104人	31,996人	118,603人	27.0%
南区	17,853人	88,048人	35,278人	141,179人	25.0%
西区	23,290人	118,395人	45,094人	186,779人	24.1%
安佐南区	37,608人	153,597人	52,848人	244,053人	21.7%
安佐北区	15,373人	75,403人	48,776人	139,552人	35.0%
安芸区	9,710人	46,415人	21,107人	77,232人	27.3%
佐伯区	19,882人	82,016人	39,000人	140,898人	27.7%

(資料:住民基本台帳人口)

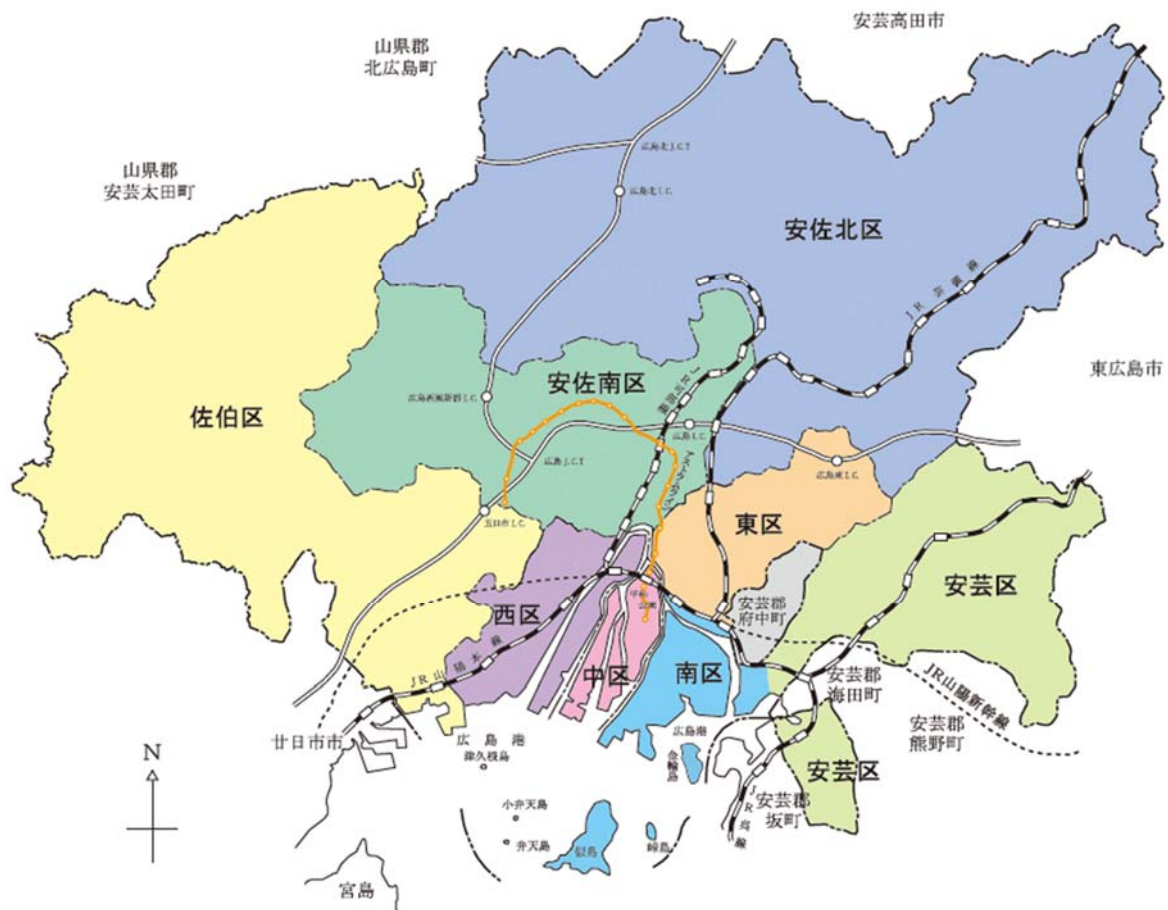
● 気象(平成 3 年～令和 2 年平均)

本市の気候は温暖で降水量が少ない、いわゆる「瀬戸内気候区」に属しています。月平均気温は、1月 5.4℃、8月 28.5℃、年平均 16.5℃と比較的温暖です。



● 位置・地勢

本市は広島県の西部に位置し、広島湾に面しています。市域内の平地の大部分は、太田川流域に形成された沖積平野からなります。



面積

906.69km²

(令和4年10月1日現在)



各区の概要

注：人口・世帯数は、令和4年（2022年）12月末現在の住民基本台帳によるものです。面積は、令和4年（2022年）10月1日現在のものです。



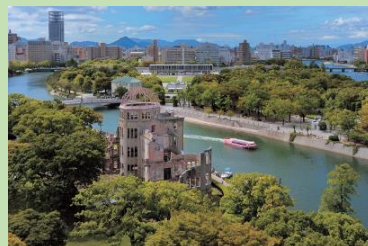
中区

いき 生き 中区

人口 136,435人 世帯数 79,613世帯 面積 15.32km²

中区のまちづくりの方向性（基本方針）

- 都心にふさわしいにぎわいを創るまちづくり
- 自然と歴史、文化芸術を生かしたまちづくり
- 互いに尊重し、地域で支え合い、多様な住民が健康で快適に暮らせるまちづくり
- 地域コミュニティを育むまちづくり
- 災害に強く、犯罪や事故の起こりにくい安全・安心なまちづくり



原爆ドーム(世界遺産)と平和記念公園

- ◆ 太田川河口デルタ地帯の中央部に位置し、東は京橋川、西は天満川と接しており、中央には元安川と本川(旧太田川)が流れています。
- ◆ 中心部である紙屋町、八丁堀地区は、広島広域都市圏の中心であり、デパート、地下街、専門店などの商業施設や官公庁、銀行、企業の本・支店などが集積しており、中四国地方最大の歓楽街である流川、薬研堀地区が隣接しています。また、バスセンター、市内電車、そしてアストラムラインが多様な都市活動を支えています。さらに、平和記念公園や中央公園、平和大通りなどがあり、国際平和文化都市・広島象徴として個性のある都市景観を形成しています。
- ◆ 周辺の白島、十日市、千田町などの地区は、中高層住宅や商業施設が立ち並び、南部の吉島、舟入などの地区は、商業、工業が混在する住宅地です。また、南端の江波地区では、カキの養殖などの漁業が行われています。



紙屋町地下街の活性化
(「紙屋町まちかどピアノ」を活用したイベント)



歴史資源活用プロジェクト
(地域の歴史を伝える動画「わが街ヒストリア」)



基町住宅地区の活性化
(「基町資料室おしゃべりサロン」の開催)

中区では、次の4つのまちづくりの方向性に基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 都心にふさわしいにぎわいを創るまちづくり

● まちなかにぎわいづくり事業

商店街、地域団体、行政などが連携・協働して、防災訓練、落書き対策、おもてなし市民交流プログラムなどに取り組み、魅力と活力にあふれ、安全・安心に過ごせる中心部繁華街のまちづくりを進めています。

● 公共空間等を活用したまちなかにぎわいづくり

● 紙屋町地下街の活性化

東新天地公共広場、アリスガーデン、袋町公園、紙屋町シャレオなど、中心部の公共空間を活用した商店街や地域団体が主体となったイベントの実施を働きかけるとともに、都心にふさわしいにぎわいのあるまちづくりができるよう支援を行っています。

2 自然と歴史、文化芸術を生かしたまちづくり

● 歴史資源活用プロジェクト

広島城や西国街道など、区内の歴史資源を活用した新たなイベント等を実施することにより、まちなかにぎわいづくりに取り組むとともに、区の新魅力発見に繋がります。

3 地域コミュニティを育むまちづくり

● 地域コミュニティの強化

ワークショップの開催などにより、町内会加入促進など地域力の向上に役立つ住民主体の活動を支援しています。

● 基町住宅地区の活性化

広島市立大学と中区が連携し、若者を中心とする創造的な文化芸術活動や地域交流を通じて、地区の魅力づくりや活性化に向けた取組「基町プロジェクト」を行っています。

● 花づくりの活動の支援

市民ボランティアグループによる道路、公園などの公共施設での花づくり活動に対し、花の苗などの提供、講師の派遣などの支援を行っています。

● 花と緑で彩る「なかちゃん音楽の輪」

花と緑と音楽を連携させた音楽イベントを繋いで広げていくことにより、にぎわいと活力をもたらすまちづくりを進めています。ホールや公民館など様々な会場で、地域で活動する団体等が出演する音楽イベントを開催しています。

4 災害に強く、犯罪や事故の起こりにくい安全・安心なまちづくり

● 地域防災力の向上

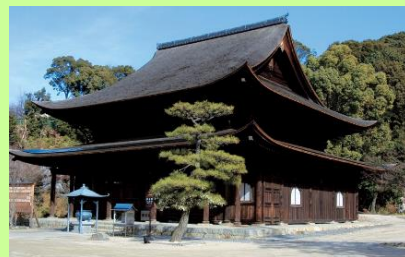
わがまち防災マップの作成支援やポケット版防災マニュアルの作成・配布など、区民の防災意識を高める取組を、自主防災会などの関係団体等と連携して進めています。

人口 118,603 人 世帯数 57,197 世帯 面積 39.42 km²

東区のまちづくりの方向性（基本方針）

- 安全・安心で、元気あふれるまちづくり
- みんなで支え合うまちづくり
- 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり
- おもてなしの心あふれるまちづくり

- ◆ 太田川河口デルタの北東に位置し、北東から南西に細長い地形で、全体的に丘陵や山麓が多く自然に恵まれた地域です。
- ◆ また、広島市の陸の玄関口である JR 広島駅新幹線口に隣接し、北東に擁する山陽自動車道広島東 IC に接続する広島高速 1 号線から市街地へ続く都市高速道路網により、広域的な交通条件にも恵まれています。
- ◆ 二葉エリアは、JR 広島駅の北側に位置し、都心としての商業地が連なる JR 広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）と、近隣の住宅地から形成されています。エキキタでは、再開発による新しい街並みと、歴史的建造物や社寺が並ぶ「二葉の里歴史の散歩道」が共存しています。
- ◆ 牛田・早稲田エリアは、牛田山周辺の平地・丘陵部には住宅地が、国道沿いには商業地が形成されています。エリア内には、広島市唯一の国宝である不動院金堂があります。
- ◆ 戸坂エリアは、牛田山、松笠山と太田川に囲まれ、平地・丘陵部に住宅地が、戸坂川沿いには商業地が形成されています。
- ◆ 福木・温品エリアは、山々に囲まれ、府中大川沿いなどの平地部では、主に農地が混在した住宅地が形成されています。エリア内には、ひろしま遊学の森（広島市森林公園及び広島県緑化センター）といった大規模な公園を有し、自然豊かなレクリエーションの場として親しまれています。



不動院金堂(国宝)



常設オープンスペース「子育て交流ひろば『ぽっぴひがし』」



「二葉の里歴史の散歩道」定期ガイド



エキキタ・カラフルマルシェ

東区では、次の 4 つのまちづくりの方向性に基づいて、「自分たちのまちは自分たちで創る」をキャッチフレーズとして、区民の皆さんや企業などと区役所とが適切に役割分担をしながら協働していくことで、住民主体のまちづくりを進めています。

1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり

●防災まちづくり

平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という防災意識の向上を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練に取り組んでいます。

2 みんなで支え合うまちづくり

●子育てオープンスペースの開催

子育て中の親子が交流できる常設オープンスペース「子育て交流ひろば『ぽっぴひがし』」と「オープンスペースわくわくランド光明」では、季節行事や保育士による育児相談を行うなど地域ぐるみの子育て支援の場になっています。

●認知症サポーター養成講座の開催

地域や職場の中で認知症の人や家族を適切にサポートできるよう、小学校から大学までの教育機関や団体などを対象に認知症サポーター養成講座を開催しています。

3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり

●「二葉の里歴史の散歩道」のガイド

牛田新町の不動院～二葉の里～矢賀一里塚跡までの間に点在する由緒ある神社・仏閣や史跡などの文化遺産を結んだ「二葉の里歴史の散歩道」を、毎月 28 日の「ふたばの日」や希望日に応じた「いつでもガイド」により、ボランティアガイドが無償で案内しています。

●自然観察会と区民ハイキング

東区は、二葉山・牛田山の緑地や太田川の水辺など豊かな自然環境を有しています。春には、東区緑のボランティアの会が中山でモリアオガエルの卵場の自然観察会を、秋には、区や地元学区体育協会などが協働して「牛田山ぐるっとハイキング」なども実施しています。

4 おもてなしの心あふれるまちづくり

●エキキタ（JR 広島駅新幹線口周辺地区）のまちづくり

「エキキタ・カラフルマルシェ」などのイベントにより、にぎわいや活力の創出などを目指し、地元住民や事業者及び行政が、エリアマネジメントの手法を活用しながら協働して、一体的なまちづくりに取り組んでいます。



南区

人口 141,179 人 世帯数 71,828 世帯 面積 26.46 km²

南区のまちづくりの方向性（基本方針）

- 陸と海の玄関の特色を生かした多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくり
- 人と人のつながりを大切にしたいみんなが支え合う安全・安心なまちづくり
- 歴史を生かす、文化やスポーツを楽しむ地域に愛着を持って心豊かに暮らせるまちづくり
- 山や島などの豊かな自然の魅力を活用した美しいまちづくり



海から望む南区

- ◆ 太田川デルタの南東部を中心とした区域で、広島市の陸と海の玄関である JR 広島駅と広島港を有しています。似島や金輪島などの島しょ部を抱えるとともに、桜の名所として知られる比治山や黄金山があります。
- ◆ JR 広島駅南口周辺地区は、広島東洋カープの本拠地「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」に商業・業務・住居などの諸機能が集積した再開発ビルが新たに加わり、広島の陸の玄関にふさわしい変貌を遂げ、今後もさらなる発展が期待されています。
- ◆ 広島港のある宇品・出島地区は、瀬戸内海の海上交通や、国際交流・交易の拠点としての役割を担っています。



旧国鉄宇品線跡地での農作物の収穫



ひろしま南区スイーツフェア



ニノシマボタルの観察会

南区では、次の4つのまちづくりの方向性に基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 陸と海の玄関の特色を生かした多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくり

●広島港周辺地区における海と島の魅力を活用したまちづくり

広島港界わいの魅力を PR し、にぎわいを創出するため、地域団体や民間企業等と協働して、広島みなと公園周辺及び似島で「広島みなとフェスタ」（3月）を開催しています。

●広島駅南口周辺地区におけるにぎわいのあるまちづくり

駅前周辺の再開発に伴い、地域の住民や企業等が主体となって、陸の玄関にふさわしいおもてなしのにぎわいのあるまちづくりを進めることができるよう、関係局と連携して支援を行っています。

2 人と人のつながりを大切にしたいみんなが支え合う安全・安心なまちづくり

●地域の担い手育成の推進

広大な未利用地となっていた宇品東地区の旧国鉄宇品線跡地において、地域団体と協働して農作物の栽培やスポーツ施設の運営を行うことで、地域内の交流促進や、美観の維持に取り組んでいます。

3 歴史を生かす、文化やスポーツを楽しむ地域に愛着を持って心豊かに暮らせるまちづくり

●地域資源の活用・発信による地域愛の醸成

区内の菓子店と高等学校との協働で、「南区お宝スイーツ」を開発しイベント販売するなど、地域資源や特性を活用した事業の実施により、幅広く住民や地域企業の参画を促すほか、印刷物や PR 動画の作成等により南区の魅力を区内外に発信しています。

4 山や島などの豊かな自然の魅力を活用した美しいまちづくり

●似島の魅力を活用したまちづくり

島内の住民や事業者と連携して、似島の観光・地域資源の掘り起こしを図るとともに、歴史ボランティアガイドの養成、ニノシマボタルが育つ環境の整備、観光パンフレットや PR 動画の制作を行い、豊かな自然と歴史を生かした「島おこし」に取り組んでいます。

人口 186,779 人 世帯数 95,484 世帯 面積 35.61 km²

西区のまちづくりの方向性（基本方針）

- 地域資源を活用したまちづくり
- にぎわいのあるまちづくり
- 元気アップを目指したまちづくり
- 安全・安心で美しいまちづくり



天満川と太田川放水路

- ◆ 東を天満川、西を八幡川に挟まれた区域で、中央部には太田川放水路が流れています。宗箇山（三滝山）から鈴ヶ峰周辺に連なる山々に囲まれるなど豊かな自然に恵まれ、古江のイチジク、観音のネギ、草津のカキなどの特産品があります。また、かつての西国街道沿いの街並みや三瀧寺など歴史・文化資源も豊かです。
- ◆ 北東部の三條や大芝は住宅と商業・工業機能とが複合した市街地であり、中広町から「西風新都」に向けて広島高速 4 号線が通じ、南部には広島南道路が太田川放水路右岸まで通じています。また、西部の丘陵には住宅団地が形成されています。
- ◆ 己斐および横川は、交通ターミナル機能や商業機能を生かした地域拠点の役割を、また商工センターは、トラックターミナル、中央卸売市場や商業街区を擁する市の経済・流通拠点の役割を担っています。
- ◆ 北西部の竜王町には市の中心部を一望できる総合公園（竜王公園）が整備され、太田川放水路河川敷の運動公園（太田川緑地）とともに、身近な憩いの場として親しまれています。南東部の観音新町には、ヨットハーバー（観音マリナー）や商業施設が整備され、レジャー・レクリエーション空間が形作られています。



西国街道沿線の歴史・文化の活用（井口ぶらり旅）



花と緑と音楽を楽しむ「もてなしの場づくり」（西広島）



防災訓練（己斐地区）

西区では、次の 4 つのまちづくりの方向性に基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 地域資源を活用したまちづくり

●西国街道沿線の歴史・文化の活用

己斐、古江、草津、井口を通る西国街道（江戸時代の山陽道）の沿線に残る歴史的建造物等を活用し、地域資源について理解を深め、次世代に伝えていく意識の醸成を図り、自主的なまちづくり活動につなげます。

●地域資源の情報発信

区役所 1 階市民ロビーや広報紙、ホームページ、フェイスブックなどを活用し、西国街道や三瀧寺など歴史・文化や、区民によるまちづくり活動の様子など、西区の様々な魅力を発信します。

2 にぎわいのあるまちづくり

●花を活用した「もてなしの場づくり」の推進

西区内 JR 3 駅（新井口、西広島、横川）周辺を、地元商店街、西区を拠点に活動するトップスポーツチームとの連携によって「来てよかった」「また来たい」と思ってもらえるように「花」を活用した「もてなしの場」として整備するとともに区民の参画を図り、自主的なまちづくり活動につなげます。

3 元気アップを目指したまちづくり

●食と健康の発信スポットによる食育の推進

市民や職員の食への関心や健康意識を高めるため、区役所の食堂を「食と健康情報の発信スポット」として活用するとともに、乳幼児健診を活用し、若い世代に対する啓発活動を行います。また、食生活改善普及運動月間に合わせて、食育イベントを実施します。

●西区トップスポーツクラブの応援

西区を活動拠点とするスポーツチームへの応援の輪を西区全体へ広げ、子どもたちと選手が直接交流する機会を増やし、スポーツを通じた青少年の健全育成を図ります。

4 安全・安心で美しいまちづくり

●災害に強いまちづくりの推進

集中豪雨や台風等による土砂災害や河川の氾濫などの大きな被害が発生していることから、区民の防災意識を高め、地域における防災活動を促進し、災害に強いまちづくりを推進します。

●環境保全意識の向上促進

豊かな自然が残る宗箇山（三滝山）や平和大通りの樹木とのふれあいを通じ、身近な自然環境の素晴らしさを再発見することにより、環境保全意識を醸成するとともに、地域への愛着を高め、区民の自主的な環境保全活動につなげます。



安佐南区

人口 244,053 人 世帯数 108,443 世帯 面積 117.03 km²

安佐南区のまちづくりの方向性（基本方針）

- 地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり
- みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり
- 自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり
- 地域と大学がつながり、活力あふれるまちづくり

◆ 広島市域の北西部に位置し、広島市で一番人口の多い区です。

昭和 40 年代後半から昭和 50 年代にかけて山地部を中心に大規模な宅地開発が進むとともに人口が増大したため、都市基盤整備が急務となり、市の中心部から北西部に至る祇園新道・中筋沼田線や、トンネルで両地区を結ぶ高速 4 号線の開通、中四国地方初めての新交通システム「アストラムライン」の運行など道路交通網が整備されました。

◆ また、広島広域公園のある沼田地区では、「住み」「働き」「学び」「憩い」「護る」といった複合的機能を備えた都市拠点である西風新都の整備を進めています。

◆ 一方、市街化区域内にある川内地区などは、砂壤土で野菜栽培に適した農地であり、特産の広島菜を栽培するなど、市民への新鮮な野菜の供給元になっています。

◆ 都市化が進んだとはいえ、周辺には緑豊かな自然が多く残っており、こうした環境のなか 6 大学・2 短期大学など多くの文教施設を有しています。



祇園新橋とアストラムライン



安佐南区役所 “小さな音楽会”



安佐南区民交流駅伝大会



ボランティアによる海外援助米生産事業

安佐南区では、次の 4 つのまちづくりの方向性に基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり

● 歴史・文化などの地域資源を活用し、それぞれの地域への愛着と誇りを育むとともに、住民と行政などが協働し、魅力にあふれ、様々な人が訪れるまちづくりを進めるため、住民に親しまれる区役所づくりを目的とした「小さな音楽会」や「芸術展示」、更なる区の魅力向上を目指した「サンフレッチェ広島応援プロジェクト」などを展開しています。

2 みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり

● 住民や行政などがそれぞれの立場を担い、防災力・防犯力を高め、誰もが安全・安心・健康に暮らせるまちづくりを進めるため、町内会・自治会への加入促進を目指した「さわやかあいさつ運動」や区民の交流機会の創出として「花いっぱい運動」、「区民交流駅伝大会」などの事業を展開しています。

● 平成 26 年 8 月 20 日豪雨災害からの復興に向け、都市計画道路等の整備を進めています。

3 自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり

● 里山や川などの身近な自然を保全・活用し、農林業の振興や中山間地域の活性化、住民が自然と触れることのできる環境づくりに取り組み、自然と共に豊かに暮らし、自然を通じて人々が交流するまちづくりを進めるため、区内唯一の中山間地域である戸山地区の「魅力 PR 事業」や農林業を通じた市民交流事業などを展開しています。

4 地域と大学がつながり、活力あふれるまちづくり

● 大学と地域の交流・連携を促進し、大学の知的資源を活用した学びの機会の創出や、大学生のパワーやアイデアを生かした協働の取組により、地域課題の解決を図るとともに、文化的で活力にあふれるまちづくりを進めるため、「大学と地域の交流・連携の促進事業」や「あさみなみ区民大学」などを展開しています。

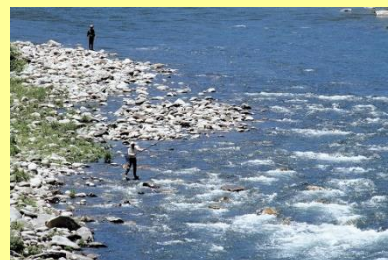
安佐北区

人口 139,552 人 世帯数 65,831 世帯 面積 353.33 km²

安佐北区のまちづくりの方向性（基本方針）

- 都市圏北部の拠点として、活力にあふれるまちづくり
- 支え合いの心を育み、住み続けられるまちづくり
- 自然や歴史、伝統文化など地域資源を生かしたまちづくり
- みどりの恵みが実るまちづくり
- 安全で災害に強いまちづくり

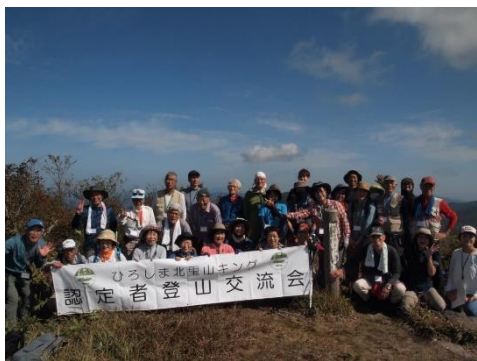
- ◆ 市の最北部に位置し、安芸太田町、北広島町、安芸高田市、東広島市と接しています。東西に 32.9km、南北に 21.8km の広がりを持ち、面積は 353.3 km² と 8 区の中で一番広く、市域の約 4 割を占めています。人口は約 14 万人です。
- ◆ 広島市と合併した旧安佐郡北部の安佐町、可部町、高陽町、旧高田郡白木町からなり、山地が多く、低地は、太田川、三篠川沿いに形成され、この低地に隣接して丘陵地がある、豊かな自然環境に恵まれた区です。
- ◆ 主な水源は太田川、根谷川、三篠川であり、交通インフラとしては JR 可部線や芸備線、県北や山陰とを結ぶ一般国道 54 号、183 号、191 号、261 号、県道広島三次線などが走り、丘陵部では数多くの住宅団地が開発されています。



太田川



可部線の駅を発着とするまち歩き事業



ひろしま北里山キング認定制度



あさきた神楽発表会

安佐北区では、次の 5 つのまちづくりの方向性に基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 都市圏北部の拠点として、活力にあふれるまちづくり

●可部線電化延伸を契機とした可部のまちづくり

JR 可部線の電化延伸を契機とし、可部線の駅を発着とするまち歩き事業など新たなまちづくりを進めています。

2 支え合いの心を育み、住み続けられるまちづくり

●あさきた元気フェスタの開催

安佐北区の魅力を集めた「あさきた元気フェスタ」を開催して、住民主体によるまちづくりを担うリーダーの育成などを図ることで、地域コミュニティの活性化を進めています。

3 自然や歴史、伝統文化など地域資源を生かしたまちづくり

●可部連山トレイルラン in あさきたの開催

安佐北区の豊かな自然を活用したトレイルランニング大会を開催し、区の魅力 PR やスポーツ振興を図るとともに、大会運営を通じて地域団体間の交流促進を進めています。

●ひろしま北里山キング認定制度の運用

北部 4 市町（安佐北区、安芸高田市、安芸太田町、北広島町）が連携して、共通の魅力である里山の登頂認定制度を実施し、市町間の交流人口の増加と地域の活性化を図っています。

●あさきた神楽発表会の開催

区内の神楽団体が舞を披露する「あさきた神楽発表会」を開催し、安佐北区の神楽文化の魅力を区民が親しみ、継承していく気運を盛り上げています。

4 みどりの恵みが実るまちづくり

●実りの里づくりの展開

住民主体の活性化ビジョン策定や実践活動（地域コミュニティの強化、都市農村交流の推進など）による都市住民の定着、農地や森林の活用などを支援することで、農村の活性化を進めています。

5 安全で災害に強いまちづくり

●災害に強いコミュニティ“あさきた”をつくろう

若者と住民の交流による防災研修や実践を通じた防災プログラムづくりなどを支援することで、地域防災力の向上やコミュニティ活性化を図っています。

人口 77,232 人 世帯数 35,654 世帯 面積 94.08 km²

安芸区のまちづくりの方向性（基本方針）

- 人を育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり
- 豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくり
- ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり
- 東部地域をつなぐ活力とにぎわいのあるまちづくり

- ◆ 市の東部に位置し、旧安芸郡の瀬野川町・熊野跡村（現在の阿戸町）・船越町・矢野町からなっています。
- ◆ 瀬野川地区は、国道2号沿いに自動車や食品関係の工場が並び、山間部では田園風景と新旧の住宅地をみることができます。
- ◆ 阿戸地区は、面積の大部分が山林と農地で占められ、熊野川を中心に静かなたたずまいをみせるまちで、農業振興地域となっています。
- ◆ 船越地区は、安芸区で最も人口密度の高い地区で、沿岸部の工業地区と山地部寄りの住宅地区からなっています。
- ◆ 矢野地区は、平地部は昔ながらの住宅地、丘陵部は新興の住宅団地となっています。また、沿岸部では、完成した工業団地へ企業が進出しています。



春です！瀬野川健康ウォーキング



いきいき百歳体操（阿戸地区）



見ぬ友と心結ぶのろしりレー



歴史散策会「西国街道を歩こう」

安芸区では、次の4つのまちづくりの方向性に基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 人を育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり

●高齢者交流サロンでいきいき百歳体操！

高齢者の身近な集いの場である交流サロンや地域介護予防拠点運営する地域団体等を区社会福祉協議会、地域包括支援センターと連携して支援しています。

●春です！瀬野川健康ウォーキング

区民の健康づくりを推進するため、地元の桜まつりの開催に合わせて、瀬野川の河川敷を活用したウォーキング大会を開催しています。

2 豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくり

●見ぬ友と心結ぶのろしりレー

絵下山をスタートし、全国をのろしで結ぶ「見ぬ友と心結ぶのろしりレー」を行い、絵下山の魅力を全国に発信しています。

●ハイキングコースの整備

里山を気軽に楽しむことができるよう、市民ボランティアと一緒に、ハイキングコースの整備やマップの作成を行っています。

3 ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり

●西国街道を歩こう

市民ボランティアと一緒に、瀬野川流域の西国街道を活用した歴史散策会「西国街道を歩こう」を実施し、区民が地域の魅力を知り、「ふるさと」として親しみを感じることができるまちづくりを進めています。

●花と緑と音楽のまちづくり

区内の花づくり活動を行う団体等の育成・支援や、隣接する海田町との連携により、活動の輪を広げ、花と緑にあふれるまちづくりを進めています。また、「花と緑」に「音楽」を加え、花と音楽にあふれるまちづくりを安芸区民文化センター主催の「あきクラシックコンサート」等との連携により進めています。

4 東部地域をつなぐ活力とにぎわいのあるまちづくり

●安芸地区交流まつりの開催

隣接する府中町、海田町、熊野町、坂町と日常生活圏が一体化していることから、安芸地区の住民の交流を図るため、「安芸地区交流まつり」を開催しています。



佐伯区

㊦ さえあい ㊧ がおあふれる ㊨ ぼうのまち

人口 140,898 人 世帯数 64,314 世帯 面積 225.43 km²

佐伯区のまちづくりの方向性（基本方針）

- 自然と共生し、歴史・文化を体感できるまちづくり
- 人に優しく、快適で安全・安心なまちづくり
- 地域力を高め、元気で活力のあるまちづくり
- 人が集い交流する、にぎわいのあるまちづくり

- ◆ 市の西部に位置し、東は西区、安佐南区、安佐北区に、西は廿日市市に、北は安芸太田町に接しています。
- ◆ 区の南部は、八幡川沿いに広がった平野部が、極楽寺山・窓ヶ山・鈴ヶ峰などの山々で形成される山地部に取り囲まれています。北部は、太田川水系水内川が東西に貫流し、その上流では谷あいの平地に集落が点在し、下流ではやや広がりを持った河川沿いの平地に比較的まとまった集落が形成されています。
- ◆ 区の南部では、山陽自動車道、西広島バイパス、JR 山陽本線、広島電鉄宮島線、一般国道 2 号、臨港道路廿日市草津線が東西に走り、さらに、広島港五日市埠頭や都市計画道路駅前線の整備が進むなど、広島都市圏西部の拠点となっています。
- ◆ 一方、湯来地区は、広島の奥座敷として親しまれてきた「湯来温泉」や旧広島藩主浅野氏の湯治場でもあった「湯の山温泉」をはじめ、緑の山と清らかな水、澄んだ空気に象徴される恵まれた自然資源を有しています。



八幡川リバーマラソン



湯ノ山明神旧湯治場（本殿・拝殿・湯屋）



防災訓練（五月が丘学区）



佐伯区まちづくり百人委員会の活動

佐伯区では、次の 4 つのまちづくりの方向性に基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 自然と共生し、歴史・文化を体感できるまちづくり

海、川、山などの豊かな自然環境を維持・活用するとともに、湯来温泉や湯の山温泉を始めとした魅力ある歴史や文化等の地域資源を承継・活用したまちづくりを進めています。

●湯の山温泉・旧湯治場の利活用の促進

国重要有形民俗文化財「湯ノ山明神旧湯治場」一帯の魅力を広く発信し、来訪者を増やす取組を行っています。

2 人に優しく、快適で安全・安心なまちづくり

誰もが住みやすい環境づくりに取り組むとともに、互いに支え合う安全で安心なまちづくりを進めています。

●防災まちづくり事業の推進

地域防災力の向上を図るため、わがまち防災マップ作りや防災訓練の支援等区民の防災意識の高揚や地域における防災活動の促進に取り組んでいます。

3 地域力を高め、元気で活力のあるまちづくり

地域コミュニティを育むとともに、身近な地域資源を活用した住民の主体的かつ継続的な取組を促進し、元気で活力のあるまちづくりを進めています。

●町内会の加入促進

地域コミュニティの活性化や住民同士の共助意識の育成につながる取組を行っています。

●区民主体のまちづくりの推進

「佐伯区まちづくり百人委員会」を設置し、花部会、幸齢者部会、商店街部会、町内会いきいき部会、災害に強いまちづくり部会の 5 つのテーマに沿った部会で、区民が主体となって活動しています。

4 人が集い交流する、にぎわいのあるまちづくり

コイン通りや五日市埠頭などの地域資源を活用し、近隣市町である廿日市市、大竹市、安芸太田町との連携も図りながら、イベントの開催や観光の振興などに取り組み、活発な交流やにぎわいのあるまちづくりを進めています。

●アートフェスタ佐伯区の開催

区内の芸術家や文化団体等によるイベントや作品展示を行い、芸術文化の発表や鑑賞の場を増やす取組を行っています。

●西国街道プロジェクトの実施

区の歴史資源「西国街道」について、まちあるきイベントやマップ制作など、近隣市町とも連携しながら取り組んでいます。



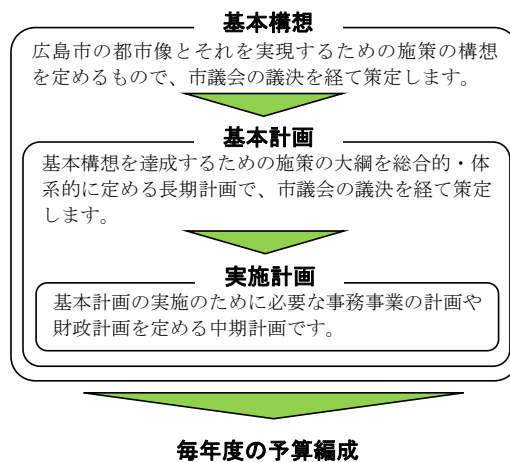
広島市総合計画

総合計画は、幅広い市民生活に関わる広島市の仕事を、計画的・効率的に行うための基本的な方向を定めるもので、広島市が策定する全ての計画の最上位に位置付けられるものです。

この総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成され、広島市では、これらを基に毎年度の予算を編成し、具体的な施策を進めています。

広島市では、少子化・高齢化、人口減少や地域コミュニティの活力低下への対応など様々な課題に直面する中、広島市のより一層の発展に向けた施策を展開していくため、令和2年(2020年)6月に広島市議会の議決を経て、「広島市基本構想」を改定するとともに、「第6次広島市基本計画」を策定しました。また、同年7月には、「広島市実施計画(2020-2024)」、第2期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略」を策定しています。

【広島市総合計画の体系】



広島市基本構想

1 都市像

広島市の都市づくりの最高目標となる都市像は「国際平和文化都市」です。この都市像は、広島市が初めて基本構想を策定した昭和45年(1970年)から継承しています。

2 施策の構想(構成のみを掲載)

国際平和文化都市の具現化に当たり、三つの要素を基に、次のとおり施策の構想を定めています。

●世界に輝く平和のまち

- (1) 「平和への願い」を世界中に広げるまちづくり

●国際的に開かれた活力あるまち

- (1) 活力の創出と都市の個性の確立を目指したまちづくり
- (2) 地域特性に応じた個性的な魅力を生かしたまちづくり

●文化が息づき豊かな人間性を育むまち

- (1) 多様な市民が生き生きと暮らせるまちづくり
- (2) 保健・医療・福祉、子どもの育成環境の充実を目指したまちづくり
- (3) 安全で安心して生活でき、豊かな自然を将来に引き継ぐまちづくり

第6次広島市基本計画

令和2年度(2020年度)から令和12年度(2030年度)までを計画期間として、次のとおり分野ごとに施策の大綱を定めています。また、計画の推進に当たっては、市民主体のまちづくりや持続可能な行政経営の推進といった点に留意しながら、施策を展開することを定めています。

1 「平和への願い」を世界中に広げるまちづくり

- (1) 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現
- (2) 「ヒロシマの心」の共有の推進
- (3) 世界の平和と人権問題の解決など市民生活の安寧の確保に向けた貢献

2 活力の創出と都市の個性の確立を目指したまちづくり

- (1) 都市機能の充実強化
- (2) 産業の振興
- (3) 観光の振興
- (4) 国際交流・国際協力や多文化共生の推進

3 地域特性に応じた個性的な魅力を生かしたまちづくり

- (1) デルタ市街地やその周辺部、中山間地・島しょ部のまちづくり
- (2) 区における住民を主体としたまちづくり活動の充実
- (3) 広島広域都市圏の発展への貢献

4 多様な市民が生き生きと暮らせるまちづくり

- (1) 高齢者や女性を始め全ての市民の意欲と能力が発揮できる環境づくりの推進
- (2) 文化・スポーツの振興
- (3) 地域コミュニティや多様な市民活動の活性化

5 保健・医療・福祉、子どもの育成環境の充実を目指したまちづくり

- (1) 地域共生社会の実現
- (2) 保健・医療・福祉の充実
- (3) 未来を担う子どもの育成と教育

6 安全で安心して生活でき、豊かな自然を将来に引き継ぐまちづくり

- (1) 安全・安心に暮らせる生活基盤の整備
- (2) 環境と調和した循環型社会の形成

●持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた施策の推進

広島市が従来から目指している「平和」(※)の実現とSDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会の実現は方向性が一致しています。

このため、基本計画とSDGsの17のゴールとの対応関係を示すことで、市民はもとより国内外の人々の共感を得ながら基本計画に基づく取組を推進しています。



SDGsのロゴ

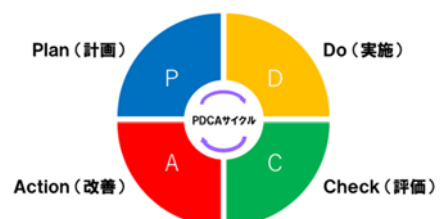
※ 単に戦争がない状態にとどまらず、良好な環境の下に人類が共存し、その一人一人の尊厳が保たれながら人間らしい生活が営まれている状態のこと。

広島市実施計画、第2期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略

令和2年度(2020年度)から令和6年度(2024年度)までを計画期間として、第6次広島市基本計画の実施のために必要な事務事業の計画及び財政計画や、人口減少に歯止めを掛け、将来にわたって活力ある地域社会を維持するための施策及び事務事業を定めています。

●PDCAサイクルの実施

広島市では、この計画に基づいて実施した施策や事業の効果について、設定した重要業績評価指標(KPI)を基に、経済団体、教育機関等で構成する「広島の拠点性強化に向けた懇話会ワーキンググループ会議」等の意見を踏まえ検証を行い、必要に応じて計画を改訂するというPDCAサイクル(※)を行っています。



※ Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。



200万人広島都市圏構想

2015 年 10 月の国勢調査以降、日本の総人口は減少を続けています。

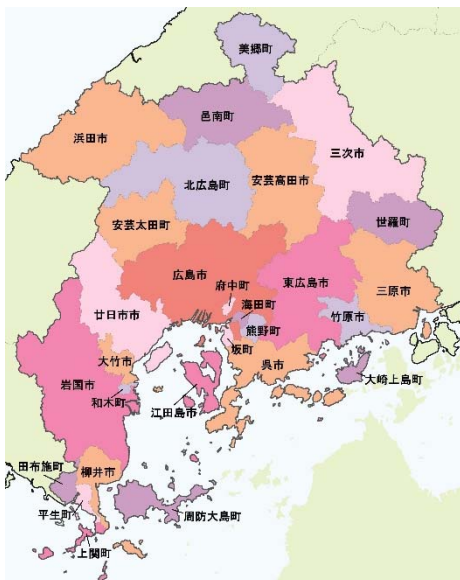
このまま人口減少や少子高齢化が進むと、経済活動の停滞や市民生活への悪影響を招く恐れがあります。

広島市の経済活動は、近隣市町から働きに来る人や広島市で生産された産品・製品の近隣市町での消費などに支えられており、これらの近隣市町を含めた都市圏全体として活性化を図ることで、人口減少に歯止めを掛ける必要があります。

このため、広島広域都市圏の各市町が、自らだけの発展を目指す旧来の考え方を改めて、圏域全体で必要な施策について実現可能性を探り、圏域全体の持続的な発展を目指す施策を着実に実行していくことが重要と考え、「200万人広島都市圏構想」の実現に向けた取組を進めています。

広島広域都市圏とは

本市の都心部からおおむね 60km の圏内にある経済面や生活面で深く結び付いている 28 市町で構成しており、1993 年から圏域の一体的発展に向けた連携・交流を推進しています。



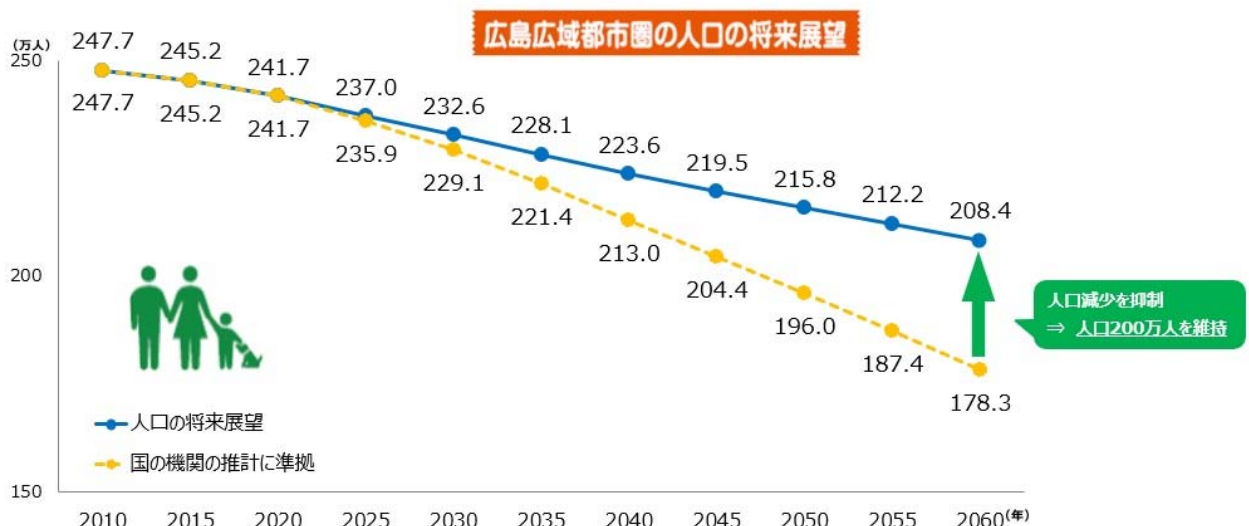
広島広域都市圏全体の人口 2,374,492 人

市 町 名	人 口	市 町 名	人 口
広島市	1,184,731	安芸太田町	5,700
呉市	209,241	北広島町	17,468
竹原市	23,584	大崎上島町	7,022
三原市	89,138	世羅町	15,165
三次市	49,557	岩国市	128,591
大竹市*	26,059	柳井市	30,201
東広島市	190,353	周防大島町	14,346
廿日市市*	116,201	和木町	5,974
安芸高田市*	26,973	上関町	2,390
江田島市*	21,393	田布施町	14,550
府中町*	52,891	平生町	11,144
海田町	30,631	浜田市	50,681
熊野町	23,486	美郷町	4,222
坂町*	12,839	邑南町	9,961

資料：住民基本台帳人口 2022 年 12 月末日現在(*2023 年 1 月 1 日現在)

広島広域都市圏の人口の将来展望

現在の圏域人口は約 237 万人ですが、2050 年には 200 万人を割って、それ以降も減少すると推計されています。そのため、各市町が一丸となってこれに立ち向かい、圏域経済の活性化と圏域内人口 200 万人超の維持を目指します。



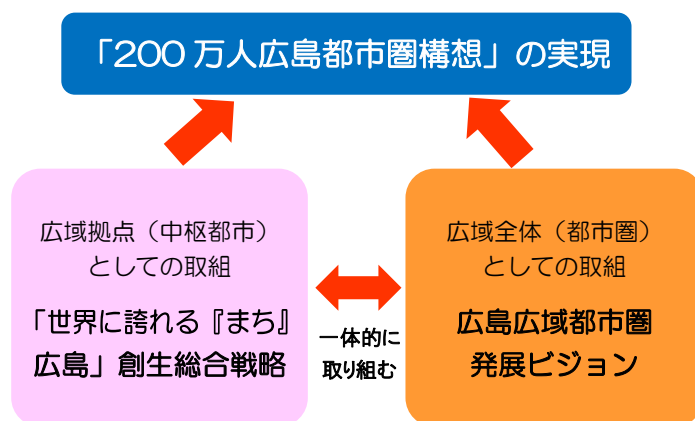
「200万人広島都市圏構想」の実現に向けた取組

住民が愛着と誇りを持てる、誰もが住み続けたい、住んでみたい広島広域都市圏を形成するため、本市は圏域の発展をけん引するエンジンとしての役割を担います。

令和2年(2020年)7月に策定した「広島市実施計画(2020-2024)、第2期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略」(以下「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略という。)に基づき、出生率の向上と若い世代の人口の確保を着実に進め、人口減少に歯止めを掛けることで、人口規模と経済力等を兼ね備えた「世界に誇れる『まち』広島」を実現し、広島広域都市圏の発展をけん引します。

また、令和3年(2021年)3月に策定した第2期広島広域都市圏発展ビジョンに基づき、都市圏が目指す3つの将来像の実現に向けた積極的な取組を行うことで、それぞれの個性をいかして輝くことができる圏域づくりを行います。

「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略と広島広域都市圏発展ビジョンの取組を一体的に展開することで、「200万人広島都市圏構想」の実現を目指します。



「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略に掲げる3つの基本目標とその取組

「世界に輝く平和のまち」、「国際的に開かれた活力あるまち」、「文化が息づき豊かな人間性を育むまち」を基本目標に掲げ、前述の「広島市総合計画」に記載の施策体系に基づき取組を進めます。

広島広域都市圏発展ビジョンに掲げる3つの将来像とその取組

●【経済面】 ヒト・モノ・カネ・情報が巡る都市圏

- (1) ローカル経済圏の構築に向けた仕組みづくり
- (2) 中小企業の振興、成長産業の育成
- (3) 誘客促進、広域的な観光ルートの創出
- (4) 里山・里海産業の支援、「若者人財」の地産地活

●【生活面】 どこに住んでも安心して暮らしやすい都市圏

- (1) 安定的な医療サービスの提供
- (2) 圏域内の公共交通網等の充実・強化
- (3) 大学等との連携による地域貢献人材の育成

●【行政面】 住民の満足度が高い行政サービスを展開できる都市圏

- (1) 暮らしの質の向上(生活機能の強化)
- (2) 結び付きやネットワークの強化
- (3) 事務の効果的・効率的な執行



核兵器廃絶に向けた取組

平和首長会議

● 概要

1945年8月、広島・長崎両市は原子爆弾により一瞬にして廃墟と化し、両市合わせて21万人を超える多くの人々の尊い命が奪われました。原子爆弾は、その投下から75年以上が経過した現在でも、放射線による後障害や精神的な苦しみを生き残った市民に残しています。被爆者の「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という切なる思いを世界の人々に広げ、次の世代にも受け継いでいくために、広島・長崎両市は一貫して世界に核兵器の非人道性を訴え、その廃絶を求め続けてきました。



1982年6月24日、荒木武 広島市長(当時)は、米国・ニューヨーク市の国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会において、世界の都市に国境を越えて連帯し、共に核兵器廃絶への道を切り開こうと呼び掛けました。また、広島・長崎両市は、この呼び掛けに賛同する都市(自治体)で構成する機構として、世界平和連帯都市市長会議(現・平和首長会議)を設立しました。1991年には、国連経済社会理事会のNGOに登録されています。

※ 2001年8月5日、「世界平和連帯都市市長会議」から「平和市長会議」に、2013年8月6日に「平和首長会議(へいわしゅちょうかいぎ)」に名称変更しました。

● 目的

平和首長会議は、加盟都市相互の緊密な連帯を通じて核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起するとともに、人類の共存を脅かす飢餓・貧困等の諸問題の解消さらには難民問題、人権問題の解決及び環境保護のために努力し、もって世界恒久平和の実現に寄与することを目的としています。

● 加盟都市数 (2022年12月1日現在)

166 か国・地域 8,228 都市 (国内 1,737 都市)	エリア名	国・地域数	加盟都市数
	アジア	39	3,292
	オセアニア	9	135
	アフリカ	49	437
	ヨーロッパ	41	3,287
	北アメリカ	3	335
	ラテンアメリカ・カリブ海地域	25	742

地域: 台湾・パレスチナ・北キプロス(アジア)、北マリアナ諸島・仏領ポリネシア(オセアニア)、ソマリランド(アフリカ)、コソボ(ヨーロッパ)、グリーンランド(北アメリカ)、プエルトリコ(ラテンアメリカ・カリブ海地域)

● 持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン(PX ビジョン)

ー 都市による軍縮と人類共通の安全保障に向けた平和構築 ー

(1) 概要

平和首長会議では、核兵器を廃絶し、人類の共存が持続可能となることにより、あらゆる人が永続的に平和を享受できる世界、すなわち「世界恒久平和」を実現するため、市民が連帯する都市を創造するとの観点から、「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョンー都市による軍縮と人類共通の安全保障に向けた平和構築ー」を2021年7月の第12回理事会で策定しました。

※ 略称:PXビジョン、英語名:Vision for Peaceful Transformation to a Sustainable World

(2) 目標

ア 核兵器のない世界の実現

都市とその市民が標的となり、使用の影響が地球規模となる核兵器は、市民の安心・安全な生活を脅かす最大の障害であるため、国連・各国政府とりわけ核保有国及びその同盟国に核兵器廃絶に向けた行動を要請することにより、為政者の政策転換を促す。

イ 安全で活力のある都市の実現

市民の安心・安全な生活をより確かなものとするため、人類の共存を脅かす飢餓・貧困等の諸問題の解消さらには難民問題、人権問題の解決及び環境保護といった地域ごとに異なる多様な課題に取り組む。

ウ 平和文化の振興

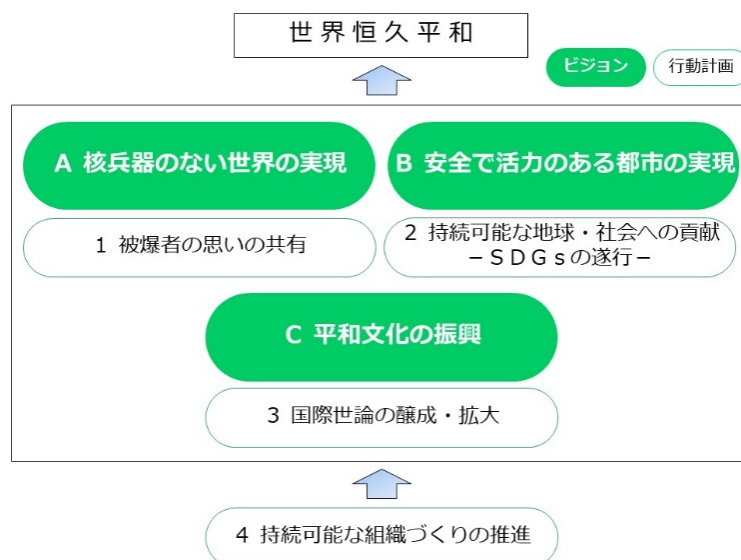
核兵器廃絶に向けた為政者の政策転換を促す環境や、人類の共存に向けて連帯する市民社会をつくるため、市民一人一人が日常生活の中で平和について考え行動するという、より根源的に重要な「平和文化」を市民社会に根付かせ、平和意識を醸成する。

(3) 取組

都市がそこに居住する市民を核兵器の脅威から確実に守るとともに、人類の共存を持続可能とするため、平和首長会議の加盟都市は、ビジョンの三つの目標の下で、併せて策定した平和首長会議行動計画(2021年-2025年)に掲げる取組を進め、平和を構築していきます。

【主な取組】

- ア 国連・各国政府への要請
- イ 平和首長会議原爆ポスター展
- ウ 被爆体験講話の聴講機会の提供
- エ 被爆樹木の種や二世の苗木の配付・育成
- オ 子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト
- カ 平和教育ウェビナー
- キ 青少年「平和と交流」支援事業
- ク 加盟都市との連携





原爆被爆者

原爆死没者の慰霊

平和記念公園内にある広島平和都市記念碑(原爆死没者慰霊碑)には、広島市原爆死没者名簿が納められています。

この名簿は毎年8月6日に举行される原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式において追加奉納されており、令和4年(2022年)8月6日現在で、名簿に登載された原爆死没者は33万3,907人に及んでいます。



広島平和都市記念碑

●広島市原爆死没者名簿奉納数

(単位:人)

奉納年月日	男	女	性別不詳	計
令和3年(2021年)8月6日現在奉納数	174,403	154,467	59	328,929
令和4年(2022年)8月6日追加奉納数	2,143	2,835	0	4,978
計	176,546	157,302	59	333,907

資料:原爆被害対策部調査課

被爆者健康手帳

被爆者健康手帳は、その人が原子爆弾による被爆者であることを示す一種の証明書であり、平成6年(1994年)に制定された「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき交付されています。手帳の所持者数は被爆者の高齢化とともに減少傾向にあります。

●被爆者健康手帳交付状況

(単位:人)

年次	総数 (※)	増加分				減少分		
		総数	新規	受診者証 からの 切替	転入等	総数	死亡	転出等
令和2年度(2020年度)	42,191	130	24	3	103	2,775	2,645	130
令和3年度(2021年度)	39,590	155	65	8	82	2,756	2,658	98

資料:原爆被害対策部援護課 注:※は年度末現在の手帳交付数

原爆症認定

原爆症認定とは、原子爆弾の放射線が原因となって起こった病気やけがについて、現在、医療を必要とする状態にあるという厚生労働大臣の認定を受けることをいいます。

原爆症認定を受けた病気やけがは、厚生労働大臣指定の医療機関等で全額国費をもって医療を受けることができます。また、原爆症認定を受けた病気やけがが、医療を必要とする状態が継続している間は、医療特別手当が支給されます。

●広島市において原爆症認定を受けている方の数(各年度末現在)

(単位:人)

年度	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
人数	4,107 (771)	4,061 (862)	3,950 (898)	3,862 (906)	3,784 (829)	3,616 (1,042)

注:()内は、原爆症認定を受けた病気やけがが、医療を必要とする状態でなくなった方の数で内数。

資料:原爆被害対策部援護課



姉妹・友好都市

本市では、7 都市と姉妹・友好都市提携を結び、さまざまな交流活動を行っています。

ホノルル市 (アメリカ合衆国)

広島市の最初の姉妹都市。両市民は第二次世界大戦で戦禍を体験し、平和を願う気持ちが強く、またホノルル市には広島出身の移住者が多いことから、提携に至りました。ハワイ州の州都として政治や経済の中心地であり、美しい風景とリゾート地、快適な気候が多くの観光客をひきつけています。

令和元年(2019年)には、提携60周年を記念して、両市代表団等が相互訪問を行いました。(昭和34年(1959年)提携)



ボルゴグラード市 (ロシア連邦)

両市とも第二次世界大戦により未曾有の被害を受け、平和を願う気持ちが強いことから、姉妹都市提携に至りました。カスピ海に注ぐ南西部の大河、ボルガ川の下流域にあり、主要産業を有するロシア有数の都市として、産業・経済・文化活動も盛んです。

広島市の平和記念式典には、代表団が度々参加しています。また、平成24年(2012年)には、提携40周年を記念して、市長をはじめとする代表団の相互訪問が行われました。

(昭和47年(1972年)提携)



大邱広域市 (大韓民国)

主にスポーツの分野で交流が行われていましたが、平成6年(1994年)のアジア競技大会を契機に友好促進の気運が高まり、姉妹都市提携に至りました。

韓国東南部の経済・教育・文化の中心で、繊維産業、機械設備産業などが盛んです。周辺の慶州、安東等への観光の拠点として、観光振興にも力を注いでいます。平成29年(2017年)には、提携20周年を記念して、両市代表団等が相互訪問を行いました。

(平成9年(1997年)提携)



ハノーバー市 (ドイツ連邦共和国)

両市間で青少年交流を中心とした10数年に及ぶ様々な分野での交流が積み重ねられ、提携に至りました。

ドイツ北部に位置するニーダーザクセン州の州都で、第二次世界大戦の空襲により破壊されながらも、戦後、中世からの伝統ある優れた都市計画のもと、再び「緑の中の大都市」と呼ばれる街に成長しました。平成25年(2013年)には、提携30周年を記念して、両市代表団が相互訪問を行いました。

(昭和58年(1983年)提携)



モントリオール市 (カナダ)

広島市長が昭和61年(1986年)に、モントリオール市で開催された「平和と安全に関する国際会議」で講演したことを契機に両市の交流が始まり、姉妹都市提携に至りました。

ケベック州最大の都市で、カナダ3大都市の一つです。国際都市としての一面と、古きヨーロッパの伝統と文化の趣を兼ね備えた都市です。平成30年(2018年)には提携20周年を記念して、本市へ市長等訪問団を迎え記念事業を行うとともに、本市から芸術団を派遣しました。(平成10年(1998年)提携)



重慶市 (中華人民共和国)

昭和55年(1980年)から、両市関係者の相互訪問を始め、様々な分野での交流を重ねていたことから友好都市提携に至りました。

中国西南部最大の商工業中心地で、直轄市としては中国で最も人口が多い都市です。水と緑に恵まれ、多数の文化財や景勝地など観光資源も豊かな都市です。

平成23年(2011年)8月及び11月に副市長等が重慶市を訪問しました。平成28年(2016年)には、友好都市提携30周年を迎えました。(昭和61年(1986年)提携)



長崎市 (日本)

被爆30周年を契機に、更に友好と提携を深め、被爆都市としての使命を果たすことにより、世界の平和と人類の福祉に寄与することを誓い、平和文化都市として提携しました。

平成29年(2017年)8月には、第9回平和首長会議総会が同市で開催され、「ナガサキアピール」及び「核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議」が採択されました。

(昭和50年(1975年)提携)





主要行事・イベント

春



広島みなとフェスタ



さくらまつり(広島市植物公園)



ひろしまフラワーフェスティバル

夏



とうかさん大祭／ゆかたでкин祭



広島みなと 夢 花火大会



ピースメッセージとうろう流し

秋



ひろしまフードフェスティバル



胡子大祭／えべっさん



ひろしま国際平和マラソン

冬



ひろしまドリミネーション



ひろしま男子駅伝



広島市水産まつり

3月 広島みなとフェスタ 4月 さくらまつり(広島市植物公園) 5月 ひろしまフラワーフェスティバル
6月 とうかさん大祭／ゆかたでкин祭 7月 広島みなと 夢 花火大会 8月 ピースメッセージとうろう流し
10月 ひろしまフードフェスティバル 11月 胡子大祭／えべっさん 11月 ひろしま国際平和マラソン
12月 ひろしまドリミネーション 1月 ひろしま男子駅伝 2月 広島市水産まつり
※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止したイベント等があります。



世界一・日本一

路面電車

編成数・年間輸送人員日本一

令和4年(2022年)3月末現在、路面電車の編成数は136両・編成、年間輸送人員は3,980万人で、それぞれ日本一です。



水辺のオープンカフェ

日本初の河川空間の民間常設型店舗

「水の都ひろしま」の実現に向けて、京橋川右岸河岸緑地内に、全国で初めて民間事業者が営業する飲食店舗を常設しました。



バウムクーヘン

世界一の長さ

似島は日本のバウムクーヘン発祥の地と言われており、日本で初めてお披露目されてから100周年を記念して、世界一長いバウムクーヘン作りに挑戦し、ギネス世界記録(20.87m)に認定されました。



広島市まんが図書館

公立で全国唯一の漫画専門館

広島市まんが図書館は、平成9年(1997年)5月1日、公立で初めての漫画専門の図書館として開館しました。令和4年(2022年)3月末現在で、約16万冊の蔵書数を誇ります。



オオサンショウウオ

世界初の飼育下での三世誕生

広島市安佐動物公園は平成19年(2007年)10月19日、飼育下での三世誕生に世界で初めて成功しました。



アストラムライン

新交通システムの長さ日本一

令和4年(2022年)3月末現在、アストラムラインの営業キロは全長18.4kmで、新交通システムの長さとしては日本一です。



オーストラリアバオバブ

日本一の幹の直径

平成29年(2017年)10月、西オーストラリアのカナナラから約11,000kmの距離を経て、大規模改修後の大温室のシンボルツリーとして広島市植物公園に新しく導入しました。

バオバブの中で日本一の幹の直径(約2m)です。





ザ・広島ブランド、ひろしまそだち

ザ・広島ブランド



広島の特産品で特に優れたものを「ザ・広島ブランド」として認定し、広くPRすることで、知名度をより高めその消費拡大を図るとともに、広島のイメージを向上させ、地域経済の活性化及び誘客の促進を図ります。

ロゴマーク

折り鶴から発想した折り紙をモチーフにし、広島の頭文字「h」を折り紙で折ったイメージで広島らしさを表現しています。また、確かな品質が保証されているという意味で使われる「折り紙付き」という意味も込めています。

「ザ・広島ブランド」認定特産品一覧

(令和5年(2023年)1月31日現在)

区分	認定産品名	事業者	区分	認定産品名	事業者
味のわいの一品	みっちゃん総本店 冷凍お好み焼	株式会社ISE広島育ち	味のわいの一品	JA広島市 本場川内特産 広島菜漬	広島市農業協同組合 広島菜漬センター
	広島産大羽いりこだし	味日本株式会社		かき醤油味付のり	広島海苔株式会社
	焼きモンブラン	株式会社アルファ		こち見布	株式会社ヒロツク
	賀茂鶴 日本酒ケーキ	株式会社アンデルセン		サクラ咲く 花ソーセージ	福岡ハム株式会社
	まるとちりめん煎餅	有限会社石野水産		もみじまんじゅう こしあん	株式会社藤い屋
	あなご竹輪	株式会社出野水産		淡雪花	
	広島県産 大豆きな粉	株式会社上万糧食製粉所		杓子せんべい	
	広島県産原料使用 だんごの粉			吾作饅頭	株式会社平安堂梅坪
	青きな粉			広島名産 柿羊羹 祇園坊	
	麵匠碓井 広島中華そば	株式会社うすい中華		堀口のかき	堀口海産株式会社
	本洲一 無濾過本醸造	合名会社梅田酒造場		しゃもじかまぼこ	有限会社堀水産
	狩留家なす	特定非営利活動法人NPO狩留家		上煎 黄奈粉	増田製粉株式会社
	さざれ石	株式会社大崎水産		かきの土手鍋の素	株式会社ますやみそ
	浜の松茸			御馳走あなご旨味塩	有限会社マリンスター
	鶴亀もなか	株式会社御菓子所高木		牡蠣まるごとせんべい	有限会社マルイチ商店
	オタフク お好みソース	オタフクソース株式会社		広島かき味のり	丸徳海苔株式会社
	オタフク 広島限定 お好みソース			酒蔵通りの甘酒たると	株式会社mike
	お多福 純米酢			瀬戸風味®	三島食品株式会社
	元祖はっさく大福	株式会社かしはら		かきめし	
	採れたて生搾り ゆずぽん酢しょうゆ	川中醫油株式会社		ひろし	
	芳醇 天然かけ醤油			みやけのうまいでがす®	株式会社三宅水産
	草津かき	草津かき組合		俵むすび	株式会社むさし
	バームクーヘン「月・太陽」4号ギフト	株式会社様		酒のいろいろ物語・広島銘酒スイーツジュレ・からす麦の焼きたてクッキー アーモンド	株式会社モーツアルト
	本格芋焼酎 達磨 紅あずま25度	株式会社サクラオブルフーアンドディスティラリー		八幡川 活性にこり酒	八幡川酒造株式会社
	味噌工房 チルド 広島流お好み焼	株式会社里吉製作所		広島産 窒素凍結 冷凍かき	山下水産株式会社
	ミツウお好みソース	サンフーズ株式会社		もみじ饅頭(こしあん)	株式会社やまだ屋
	冷凍・冷蔵お好み焼「お好み村」			桐葉菓	
	広島かきの土手鍋の素	新庄みそ株式会社		レモスコ	ヤマトフーズ株式会社
	かきだし入りみそ			安藝菜	株式会社山豊
	黒鯛みそ	瀬戸内みそ高森本店		広島菜漬「安藝菜」	
	広島ぢやけん お好みソース	センナリ株式会社		広島れもん鍋	よしの味噌株式会社
	広島産完全米酢			米田海産の広島かき	米田海産株式会社
	のむ檸檬酢(3倍濃縮タイプ)	全国農業協同組合連合会広島県本部		熊野筆(書道筆)	株式会社一休園
広島血統和牛 元就	匠の銘品	高盛絵	金城一斎		
空口ママのソルティーミルクジャム		空口ママのみるく工房	熊野化粧筆	株式会社晃祐堂	
生たけのこピクルス Wine&White		竹原給食株式会社	宮島のクロコ細工	小林松斎(小林一松堂)	
旅行の友(ふりかけ)		田中食品株式会社	熊野筆(日本画筆・アニメ筆・絵手紙筆など)	株式会社松月堂	
ちからのだし		株式会社ちから	ひろしま鯉のぼり	杉本海(ひろしま鯉のぼり)	
広島かきめしの素 かきめし		有限会社珍味処なかむら	広島漆芸	高山 尚也	
広島味の かきしぐれ			化粧筆、宝飾・漆化粧筆	株式会社丹精堂	
江波せんべい 海鮮しほり焼牡蠣		巴屋清信有限公司	エティモロゼ グリップ付きかぎ針セット	チューリップ株式会社	
大和ラムネ		株式会社中元本店	「広島針」針仕事		
酒粕フレーク			針ものがたり	トーヨー株式会社	
もみじ饅頭		株式会社にしき堂	Aiko Beads		
新・平家物語			TOHO BEADS	畑 義幸	
生もみじ		野村乳業株式会社	伝統的工芸品川尻筆 義巧(書道筆)		
植物乳酸菌発酵エキス「マイ・フローラ」			各種手縫い針 Regal Brand	萬国製針株式会社	
キング軒 汁なし担担麺		株式会社ひまわりフーズ	伝統的工芸品 広島仏壇	広島宗教用具商工協同組合	
しゃもじかきめし		広島駅弁当株式会社	熊野筆(書筆)	株式会社仿古堂	
広島レモン「赤秀」		広島県果実農業協同組合連合会	宮島御砂焼	山根興哉(対蔵堂)	
広島レモンサイダー 海人の藻塩プラス			MIYAMA松玄閣ドア	ユダ木工株式会社	
オイスターソース原液		広島県漁業協同組合連合会	手仕事のおすわけ LEAF GIFT	株式会社歴清社	
太田川じみ	広島市内水面漁業協同組合				

※事業者 50 音順

令和5年1月31日現在で、「味のわいの一品(食品)」86品、「匠の銘品(工芸品等)」20品、計106品を「ザ・広島ブランド」として認定しています。
詳しくは、広島市ホームページをご覧ください。

ひろしまそだち



◆ “ひろしまそだち”は、広島市内の農林漁業者が広島市内で生産した農林水産物及びその加工品です。産地が近いので新鮮、生産者が身近にいたので安心です。

◆ この良さを皆さんに知っていただき、地産地消に対する理解を深めていただくために、毎月第3日曜日を-ひろしま産 day-「ひろしま地産地消の日」として制定しています。

皆さんも“ひろしまそだち”マーク(左図)のついた産品を見かけたら、ぜひ買って食べていただき、地産地消に取り組んでください。



広島近郊 7 大葉物野菜

広島市内産の農林水産物等は、“ひろしまそだち”マークのついた出荷袋などで販売されています。

広島市内で多く生産されている、こまつな、サラダみずな、しゅんぎく、ほうれんそう、パセリ、青ねぎ、広島菜を広島近郊 7 大葉物野菜と名付け、積極的にPRしています。



-ひろしま産 day-「ひろしま地産地消の日」

-ひろしま産 day-「ひろしま地産地消の日」に合わせて、消費者が生産地を訪れる「地産地消ツアー」などのイベントや SNS 等を活用したレシピ動画の配信等を実施しています。



協力店は、“ひろしまそだち”協力店証などが目印です

“ひろしまそだち”地産地消協力店制度は、“ひろしまそだち”産品を通じた地産地消を進めるため、生産者と消費者の橋渡し役として積極的に産品を販売・利用する小売店や直売所、飲食店、事業所を募集・登録するものです。



名誉市民・特別名誉市民

本市では、昭和 37 年(1962 年)から広島市名誉市民条例により、市民又は市に縁故の深い人で、公共の福祉を増進し、又は学術技芸の進展に貢献し、その功績が卓絶で郷土の誇りとして市民から深く尊敬されている人に対し“広島市名誉市民”の称号を贈っています。

また、本市を来訪した外国人で、国際親善その他の目的で特に関わりの深い人に対し“広島市特別名誉市民”の称号を贈っています。

名誉市民(21 名)

氏 名	顕彰年月日	備 考
あきの ながたけ 浅野 長武	昭和 38 年(1963 年)12 月 10 日	私財を寄附、本市の教育文化厚生施設等の建設に貢献(昭和 44 年(1969 年)死亡)
さとう のぶやす 佐藤 信安	〃	13 代広島市長として市政の発展に貢献(昭和 39 年(1964 年)死亡)
もりと たつお 森戸 辰男	〃	広島大学学長として、地方文化、教育の発展に貢献(昭和 59 年(1984 年)死亡)
えのみや まき び 愛宮 真備	昭和 43 年(1968 年)4 月 1 日	被爆後、ドイツより帰化、原爆の惨禍と世界平和の尊さを国内・外に訴え、広島平和記念聖堂の建立に貢献(平成 2 年(1990 年)死亡)
まつざか よしまさ 松坂 義正	昭和 49 年(1974 年)4 月 1 日	原爆被爆者の救援・障害の調査・研究に貢献(昭和 54 年(1979 年)死亡)
たなか こういち 田中 好一	〃	地域経済、私学教育の振興など社会の発展に貢献(昭和 56 年(1981 年)死亡)
しげとう ふみ お 重藤 文夫	昭和 50 年(1975 年)7 月 17 日	原爆病院(現 広島赤十字・原爆病院)の設置及び被爆患者の治療など被爆市民の福祉向上に貢献(昭和 57 年(1982 年)死亡)
ながの しげ お 永野 重雄	昭和 55 年(1980 年)4 月 1 日	産業経済の発展、国際親善の進展に貢献(昭和 59 年(1984 年)死亡)
ますもと はかる 増本 量	〃	インバー及びエリンパー不変鋼に関する新法則並びに新合金の発見開発により世界金属界に貢献(昭和 62 年(1987 年)死亡)
もりもと とおる 森本 亨	〃	社会福祉の向上、政令指定都市実現に貢献(昭和 62 年(1987 年)死亡)
なだ お ひろきち 灘尾 弘吉	昭和 59 年(1984 年)4 月 18 日	被爆者援護、教育・文化・スポーツの振興及び福祉の向上、政令指定都市実現に貢献(平成 6 年(1994 年)死亡)
おだ みき お 織田 幹雄	平成元年(1989 年)7 月 5 日	広島スポーツ界の競技力向上、スポーツの普及及び振興、第 12 回アジア競技大会の広島招致、第 1 回ワールドカップマラソン広島大会の開催に貢献(平成 10 年(1998 年)死亡)
しまばら はんざん 島原 帆山	〃	重要無形文化財尺八の保持者(人間国宝)、尺八の指導と演奏活動を通じ伝統文化の普及及び振興に貢献(平成 13 年(2001 年)死亡)
はらだ とうみん 原田 東岷	〃	原爆被害者の治療・広島原爆被害者対策協議会の設立に尽力、世界平和の推進、文化振興に貢献(平成 11 年(1999 年)死亡)
ひらやま いくお 平山 郁夫	平成 10 年(1998 年)12 月 14 日	広島市現代美術館、広島市立大学、広島平和研究所の開設、原爆ドームの世界遺産一覧表への登録に尽力、文化の振興、平和の推進に貢献(平成 21 年(2009 年)死亡)
あがわ ひろゆき 阿川 弘之	平成 15 年(2003 年)3 月 19 日	原爆被害と人々の暮らしを描いた作品を発表、文学界に新境地を拓き、文学界の振興に貢献(平成 27 年(2015 年)死亡)
いのくち ひろお 井口 洋夫	〃	有機半導体の概念を提示し確立、分子エレクトロニクスに至る広大な分野を開拓・先導、科学の進展に貢献(平成 26 年(2014 年)死亡)
しんどう かね と 新藤 兼人	〃	原爆の悲惨さや核実験による被爆の悲劇をテーマとした作品を通じて平和を訴えるなど、映像文化の振興に貢献、本市平和の推進と文化の振興に尽力(平成 24 年(2012 年)死亡)
みやけ いっせい 三宅 一生	平成 22 年(2010 年)9 月 28 日	画期的な衣服の概念や斬新な発想で世界的な衣服デザイナーとして活躍するとともに、「ヒロシマの心」を広く世界にアピールし、芸術文化の振興や平和の推進に貢献(令和 4 年(2022 年)死亡)
もりした ようこ 森下 洋子	〃	世界的なプリマバレリーナとして活躍するなど日本でなじみの少なかったクラシックバレエの定着に尽力し、芸術文化の振興に貢献(東京都港区在住)
つばい すなお 坪井 直	平成 30 年(2018 年)3 月 27 日	長年にわたる被爆体験証言及び国内外での核兵器廃絶に向けた活動により平和の推進に貢献するとともに、被爆者援護施策の充実にも貢献(令和 3 年(2021 年)死亡)

特別名誉市民(40 名)

氏 名	顕彰年月日	備 考
ニール・ブレイズデル	昭和 38 年(1963 年)11 月 9 日	ホノルル市長として姉妹都市提携に尽力(昭和 50 年(1975 年)死亡)
ノーマン・カズンズ	昭和 39 年(1964 年)3 月 3 日	原爆孤児に物心両面の援助など平和運動に尽力(平成 2 年(1990 年)死亡)
アイラ・モーリス	昭和 42 年(1967 年)4 月 1 日	被爆者援助を通じて平和運動に尽力(昭和 47 年(1972 年)死亡)
エディタ・モーリス	〃	被爆者援助を通じて平和運動に尽力(昭和 63 年(1988 年)死亡)
バーバラ・レイノルズ	昭和 50 年(1975 年)10 月 15 日	日本及び世界各国で平和活動に尽力(平成 2 年(1990 年)死亡)
メアリー・マクミラン	昭和 55 年(1980 年)4 月 1 日	広島市での多年にわたる女子教育、平和教育、社会福祉などに貢献(平成 3 年(1991 年)死亡)
フランク・ファシー	昭和 56 年(1981 年)5 月 3 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(平成 22 年(2010 年)死亡)
フロイド・シュモー	昭和 58 年(1983 年)11 月 15 日	「ヒロシマの家」の建設・寄附を通じて平和運動に尽力(平成 13 年(2001 年)死亡)
アイリーン・アンダーソン	昭和 58 年(1983 年)11 月 19 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(令和 3 年(2021 年)死亡)
ヘルベルト・ シュマルシュティーク	昭和 58 年(1983 年)11 月 28 日	ハノーバー市長として姉妹都市交流に尽力(ドイツ在住)
ウラジミール・アトポフ	昭和 60 年(1985 年)8 月 3 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(平成 30 年(2018 年)死亡)
プリモ・ネビオロ	昭和 62 年(1987 年)4 月 8 日	国際陸上競技連盟会長としてワールドカップマラソンなど陸上競技の国際大会の広島開催に尽力(平成 11 年(1999 年)死亡)
シェイク・ファハド	昭和 62 年(1987 年)8 月 4 日	アジアオリンピック評議会会長として第 12 回アジア競技大会の広島開催決定に尽力(平成 2 年(1990 年)死亡)
ユーリ・スタロバトフ	平成元年(1989 年)8 月 4 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
シャオ・ヤン 肖 秧	平成元年(1989 年)9 月 28 日	重慶市長として友好都市提携に尽力(平成 10 年(1998 年)死亡)
ソン・トンチュアン 孫 同 川	平成元年(1989 年)10 月 11 日	重慶市長として友好都市交流に尽力(中国在住)
ルーベン・アコスタ・ ヘルナンデス	平成元年(1989 年)11 月 20 日	国際バレーボール連盟会長としてバレーボール・ワールドカップの広島での開催に尽力(メキシコ在住)
ユーリ・チェーホフ	平成 4 年(1992 年)10 月 23 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
ジェラミー・ハリス	平成 11 年(1999 年)6 月 10 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ピエール・ブルク	平成 12 年(2000 年)7 月 10 日	モントリオール市長として姉妹都市提携に尽力(カナダ在住)
ムン・フィガブ 文 熹 甲	平成 13 年(2001 年)5 月 2 日	大邱広域市長として姉妹都市提携に尽力(大韓民国在住)
エフゲニー・ペトロヴィッチ・ イシュチェンコ	平成 17 年(2005 年)8 月 4 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
ジェラルド・トランブレイ	平成 18 年(2006 年)4 月 14 日	モントリオール市長として姉妹都市交流に尽力(カナダ在住)
ワン・ホンジュ 王 鴻 拳	平成 18 年(2006 年)5 月 21 日	重慶市長として友好都市交流に尽力(中国在住)
キム・ボミル 金 範 鎰	平成 19 年(2007 年)5 月 4 日	大邱広域市長として姉妹都市交流に尽力(大韓民国在住)
シュテファン・ヴァイル	平成 20 年(2008 年)5 月 26 日	ハノーバー市長として姉妹都市交流に尽力(ドイツ在住)
ムフィ・ハネマン	平成 21 年(2009 年)11 月 5 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ダグラス・ロウチ	平成 22 年(2010 年)7 月 28 日	中堅国家構想名誉議長として平和運動に尽力(カナダ在住)
バン・ギムン 潘 基 文	平成 22 年(2010 年)8 月 6 日	国際連合事務総長として平和運動に尽力(アメリカ在住)
ピーター・カーライル	平成 23 年(2011 年)8 月 5 日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ヴァレリイ・デニソヴィチ・ ヴァシルコフ	平成 24 年(2012 年)11 月 9 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(平成 31 年(2019 年)死亡)
ドニ・コデール	平成 26 年(2014 年)8 月 5 日	モントリオール市長として姉妹都市交流に尽力(カナダ在住)
カーク・コールドウェル	〃	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
クオン・ヨンジン 權 泳 臻	平成 27 年(2015 年)5 月 4 日	大邱広域市長として姉妹都市交流に尽力(大韓民国在住)
アンドレイ・ウラジーミロヴィッチ・ コソラポフ	平成 27 年(2015 年)8 月 5 日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
シュテファン・シヨストック	平成 27 年(2015 年)8 月 6 日	ハノーバー市長として姉妹都市交流に尽力(ドイツ在住)
ヌルスルタン・ナザルバエフ	平成 28 年(2016 年)11 月 9 日	カザフスタン大統領として平和運動に尽力(カザフスタン在住)
ラッシーナ・ゼルボ	平成 29 年(2017 年)8 月 5 日	包括的核実験禁止条約機関準備委員会事務局長として平和運動に尽力(オーストラリア在住)
ヴァレリー・ブラント	平成 30 年(2018 年)6 月 4 日	モントリオール市長として姉妹都市交流に尽力(カナダ在住)
アントニオ・グテーレス	令和 4 年(2022 年)8 月 6 日	国際連合事務総長として平和運動に尽力(アメリカ在住)



広島の歴史

原始・古代

現在、市街地がある太田川下流域は、ほとんどが海中にあり、牛田・矢野・五日市や広島湾に浮かぶ島であった比治山に縄文時代の遺跡が、また、中小河川による沖積地を見下ろす丘陵を中心に、市内各地域に弥生時代の遺跡があります。

古墳時代前期になると、口田のなかおだ中小田古墳群、緑井のうなきやま宇那木山古墳群、神宮山じんぐうやま古墳群など太田川流域に大型の古墳が築造されるようになり、後期になると可部や白木などの内陸地域でも古墳が盛んにつくられるようになりました。

律令制度下の地方政治は国府を中心に行われていました。安芸国では西条（東広島市）又は府中（安芸郡府中町）に国府が設けられましたが、平安時代中期には既に府中にあったことが確認されています。また、白木の三田郷などは国府と関係がありました。

律令制度が揺らぎはじめると、貴族・寺社や皇室は荘園を所有するようになり、8世紀末には牛田荘やまとのくにが大和国の西大寺領となったほか、平安時代中期以降には可部荘（可部）、三入荘（三入）、田門荘（口田周辺）などが設けられました。

当時、太田川河口付近であった祇園地区の山本周辺には、内陸部にあった厳島神社の荘園からの物資を運び出すための倉敷地がありました。

中世

承久の乱（1221年）後、新たに安芸国守護職となった武田氏は、武田山たけだやまに築いた銀山城かなやまじょう（安佐南区）に本拠をおきました。

城下付近には市が立つなど、にぎわいをみせるようになり、政治の中心も府中から移ってきました。武田氏は、南北朝時代に入ると、足利尊氏の誘いに応じ、毛利・吉川きっかわ・熊谷氏などを味方にし、矢野城（安芸区）などで、反幕府勢力と激しい抗争を続けました。

その後、武田氏は守護職を追われましたが、15世紀の初めには、太田川流域を支配する分郡守護として復活しました。

この頃、現在の市街地の辺りには太田川によって運ばれた土砂が堆積し、砂洲や自然堤防ができ、次第にデルタが形成され、漁労を主業とする人々が生活を営むようになりました。やがてこの地域は、広島湾頭における武田氏と山口の大内氏の勢力争いに巻き込まれるなど次第に政治的・経済的に重要性を帯びるようになりました。この地が、文書に初めて出てくるのは、応永4年（1397年）のことで、厳島神社領安摩荘あまのしょう（矢野周辺）の付属地として五ヶ浦の名が記されています。

天文10年（1541年）武田氏は滅亡し、代わって毛利氏が次第に勢力を伸ばし、弘治元年（1555年）の厳島合戦で陶氏すえを破ると、急速に勢力を中国地方に拡大しました。毛利氏は豊臣秀吉の全国統一の過程において、その勢力下に入り、中国地方の大半を領有する112万石の大名となりました。

この広大な領地経営の中心は、毛利氏の本拠地である吉田の郡山城（安芸高田市）でしたが、軍事・政治・経済等あらゆる面で、海陸交通の要衝であるこの地に本拠を移すことが必要となってきました。

近世

天正17年（1589年）、毛利輝元は当時五ヶ（五ヶ村）といわれた太田川デルタの上に築城を始め、



城下絵図(安永 7～8 年頃(1778～1779 年頃))

この地を「広島」と命名したと言われています。その後、約 2 か年の歳月を費やして築城工事は完成し、19 年(1591 年)、輝元は家臣を従えて入城するとともに、領内各地から職人や商人を招くなどして、京都・大坂(大阪)に倣い城下町の建設を行いました。

豊臣秀吉の没後、慶長 5 年(1600 年)に起こった関ヶ原の戦いに敗れた毛利輝元は、防長 2 か国に移され、代わって尾張清洲(愛知県)の福島正則が芸備 49 万 8 千石の領主となりました。福島氏は毛利時代に引き続き城下町の拡張や整備を行い、西国街道(山陽道)を城下に移し替えたとされています。また、出雲・石見国への雲石街道の整備も行いました。

しかし、福島氏は幕府から広島城の無断修築の罪で改易され、元和 5 年(1619 年)、紀州(和歌山県)から浅野長晟^{ながあきら}が、安芸一国と備後 8 郡 42 万 6 千石を領して入城しました。

江戸時代には、広島城下の南方の干潟は次々と干拓されていき、文政年間(1820 年頃)には新開(干拓地)の町村数は 35 を数えました。

この頃、町・新開の人口は 4 万 8 千人を超え、これに武家・寺社の推定人口 2 万人を加えると、城下の総人口は 7 万人前後となり、江戸・大坂(大阪)・京都・名古屋・金沢に次ぐ大都市でした。

また、内海航路沿いの最大都市として、他国船が盛んに来航するようになり、本川や元安川沿いは商船が碇泊してにぎわいをみせ、中でも中島界隈は街道沿いに大店が並ぶ商業の中心地でした。

城下近郊では沿岸地域で綿が、太田川流域では麻苧^{まちよ}・紙・竹細工・野菜、広島湾では海苔・かきなどが生産され、多くが城下に集められた後、上方へ積み出されました。

明治・大正・昭和(戦前)

明治 4 年(1871 年)7 月、新政府による廃藩置県が行われ、翌 5 年(1872 年)4 月、広島城下は広島県第一大区となり、続いて 11 年(1878 年)11 月、郡区町村編制法の実施により、広島区と改められました。

次いで、明治 21 年(1888 年)4 月、市制町村制が公布され、翌 22 年(1889 年)4 月 1 日、広島は全国で最初の市の一つとして市制を施行し、広島市が誕生しました。その時の面積は約 27 km²、戸数は 2 万 3,824 戸、人口は 8 万 3,387 人でした。

明治 22 年(1889 年)11 月には、千田貞暁県令(県知事)の尽力により、17 年(1884 年)9 月以来、5 か年に及んだ宇品港の築港工事が完成し、皆実新開以南、宇品島へ至る浅海は広大な陸地となりました。さらに、27 年(1894 年)6 月には、山陽鉄道が広島まで開通しました。



明治 27 年(1894 年)広島市で開催された臨時帝国議会の仮議事堂

明治 27 年(1894 年)8 月に日清戦争が始まると、広島―宇品間の軍用鉄道(宇品線)が 2 週間余りの突貫工事により開通し、宇品港から多くの兵員・物資が戦地へ送り出されました。9 月には大本営が広島城内に移され、10 月には臨時帝国議会も開かれました。

以後、明治 37、38 年(1904、1905 年)の日露戦争など相次ぐ戦争により、軍関係の諸施設が次々と設置され、本市は、「軍都」としての性格を強めていきました。一方で 35 年(1902 年)の広島高等師範学校の設置を始めとし、広島高等工業学校、広島高等学校、広島女子専門学校、広島文理科大学などの学校が設置され、文教施設が充実していきました。こうして本市は次第に中国地方における政治・経済・文教・交通の中心都市となっていきました。

軍事施設の設置などにより、上水道の敷設など都市基盤の整備も進みました。なかでも城壕の埋立ては、その一部に電車軌道が敷設されるなど街の景観を大きく変貌させました。

大正元年(1912 年)11 月、広島電気軌道株式会社経営の市内電車が、広島駅―紙屋町―相生橋線など 3 路線で開通し、従来の乗合馬車に代わり市内の主要交通機関となりました。

大正 4 年(1915 年)4 月には御幸橋―宇品線、6 年(1917 年)11 月に左官町―横川線が開通すると、市内の交通は一段と便利になり、八丁堀・紙屋町付近が、城下町時代からの経済的中枢であった中島本町・^{ほんまち}堺町付近と肩を並べることとなりました。10 年(1921 年)には新天地が創設され、活動写真館等を中心に各種の店が集まる新たな繁華街が誕生し、昭和 4 年(1929 年)には広島初の百貨店福屋が八丁堀に開業しました。こうして本市の中心的な盛り場は八丁堀付近に移り変わっていきました。中島と新天地を結ぶ本通も次第に繁華街として成長していきました。

また、明治 37 年(1904 年)9 月に仁保島村宇品島を市域に編入(新町名:元宇品町)、さらに本市が大正 8 年(1919 年)に制定された都市計画法の適用を受けたことから、昭和に入り本市とともに都市計画区域となった隣接町村に合併を働きか



被爆前の相生橋と広島県産業奨励館(現原爆ドーム)

け、昭和4年(1929年)4月、隣接7か町村(仁保村・矢賀村・牛田村・三篠町・己斐町・古田村・草津町)との合併が実現しました。これにより、人口は27万人を超え、全国で7番目に人口の多い市となりました。

近世以来、新開開発により河口に向けて発達してきたデルタ地帯の宿命として、本市は長く洪水、高潮による被害に悩まされました。昭和7年(1932年)には太田川改修工事が着手され、また、宇品港は広島港と名を改め、翌8年(1933年)には修築が始まり、15年(1940年)からは工業港建設と埋立地を臨海工業地帯とする事業が始まりました。

昭和（戦後）・平成・令和

昭和20年(1945年)8月6日、人類史上最初の原子爆弾が市中心部上空約600mで炸裂しました。広島の街は一瞬にして焦土と化し、多くの人々の生命が奪われ、全ての都市機能は壊滅的な被害を受けました。同年末までの死者は約14万人(誤差±1万人)と推計され、生き残った人々は様々な形での後障害に苦しめられ、その影響は今なお続いています。

瞬時に壊滅し、廃墟の街となった本市の復興は、鉄道・電車などの輸送機関や通信・電力などの復旧から始まりました。市民も食糧や物資の欠乏に苦しめられながらも生活の再興を進めていきました。一方、市は、昭和21年(1946年)秋には、復興都市計画を決定しましたが、資金難などによりなかなか進みませんでした。こうした状況を打開したのが、24年(1949年)8月6日に公布された「広島平和記念都市建設法」でした。これにより、道路・橋梁・住宅などの整備が本格的に進むこととなり、高度経済成長前夜の市域拡張期を迎えました。

被爆から2年後の昭和22年(1947年)8月6日には平和祭が行われました。朝鮮戦争がぼつ発した25年(1950年)の4回目の平和祭は、開催の直前に治安を理由に中止されましたが、翌26年(1951年)からは「原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」となり、現在に引継がれています。30年(1955年)には、平和記念公園内に広島平和記念資料館が開館し、原水爆禁止世界大会も開催され、名実ともに平和記念都市として、実質的な一歩を踏み出しました。被爆の惨状を残す原爆ドームは、戦後しばらくその存廃が論議されていましたが、35年(1960年)から盛んになった市民による保存運動を契機に、41年(1966年)、保存が決定されました。



完成を待つ広島平和記念資料館(昭和29年(1954年))

戦後、市町村が所管する事務の増大に伴い、その能率的処理のためには自治体規模の合理化が必要となり、昭和28年(1953年)の町村合併促進法、31年(1956年)の新市町村建設促進法により、町村合併は全国的機運になりました。広島市では30年(1955年)4月に安芸郡戸坂村、31年(1956年)4月に安芸郡中山村、同年11月に佐伯郡井口村と合併し、翌32年(1957年)には人口は40万人を超えました。こうした中、市は33年(1958年)に「大広島」構想を発表し、本市を中核に広域都市圏を建設しようという構想を相次いで打ち出しました。

市内中心部の戦災復興は、平和大通り等広幅員の街路、新たな公園や河岸緑地の整備を行う復興計画により大規模な区画整理が必要となり、昭和 47 年(1972 年)の完成までに 30 年弱の期間を要しました。この間、都市流入人口の増加と区画整理事業等の影響から、河岸地帯はバラック建ての不法建築により占拠され、特に基町地区は大規模な不法建築群、いわゆる「原爆スラム」を抱えることになりました。53 年(1978 年)、これらを撤去し高層住宅や公園を整備する基町地区再開発事業が完了し、戦災復興に一つの区切りを迎えました。一方、原爆被災の影響が少なかった段原地区については、狭い細街路等が大きな課題として残されていましたが、平成 26 年(2014 年)、43 年をかけた再開発事業が完了しました。

戦時中、一時中断していた太田川改修工事は昭和 26 年(1951 年)に再開し、40 年(1965 年)の新放水路への通水開始により完了しました。これにより長く悩まされ続けてきた太田川流域の水害が激減しました。

高度成長期に入ると、昭和 36 年(1961 年)に広島空港(現広島ヘリポート)が開港、39 年(1964 年)の山陽本線全線電化開通、40 年(1965 年)の広島民衆駅完成、41 年(1966 年)の国道 2 号新広島バイパス開通等交通基盤の整備が進み市勢が一段と伸長、広島都市圏が形成されました。

その結果、市域を越えて広がった日常生活圏内の諸問題を一体的に処理するため、周辺町村との合併機運がさらに高まりました。昭和 43 年(1968 年)1 月、周辺 19 町村による広島地区広域行政懇談会が設置され、45 年(1970 年)3 月、魅力ある広域生活圏の形成を掲げる広島市基本構想策定により、周辺町村との合併は一挙に進みました。46 年(1971 年)4 月の安佐郡沼田町との合併をはじめとして、同年 5 月に安佐郡安佐町、47 年(1972 年)4 月に安佐郡可部町、同年 8 月に安佐郡祇園町、48 年(1973 年)3 月に安佐郡安古市町、佐東町、高陽町、安芸郡瀬野川町、同年 10 月に高田郡白木町、49 年(1974 年)11 月に安芸郡熊野跡村、安芸町、50 年(1975 年)3 月には安芸郡矢野町、船越町の計 13 か町村が本市と合併しました。

そして、昭和 55 年(1980 年)4 月 1 日には、全国で 10 番目の「政令指定都市」となりました。これにより、県の所掌する事務や権限が市に移譲され、行政運営の円滑化、新たな財源の確保による各種都市施設の整備の促進等の市民サービスの向上、行政区制の導入による市民と行政の結びつきの強化が図られました。60 年(1985 年)3 月、佐伯郡五日市町と合併し、人口は 100 万人を超えました。平成 17 年(2005 年)4 月には佐伯郡湯来町と合併し、現在人口 118 万人を超える都市となっています。

政令指定都市移行後、広域生活圏の住民に供するスポーツセンター、図書館、文化センターが各区に順次整備され、さらに郷土資料館、現代美術館、アステールプラザ、陸上競技場(ビッグアーチ)、国際会議場などの中四国地方の中心都市としての広域的な文化・スポーツ施設が充実していきました。なかでも、国際大会に使用できるスポーツ施設を持つ広域公園では、ここを中心に、平成 6 年(1994 年)に地方都市としては初めてアジア競技大会が開催されました。同年 4 月には対面する丘陵地に広島市立大学が



アジア競技大会開会式(平成 6 年(1994 年))

開学し、周辺地域の開発も加速しました。

昭和 57 年(1982 年)には、大規模な卸売団地と住宅団地の造成を同時に行う西部開発事業が竣工、アジア競技大会前後には、西風新都の開発、平成 13 年(2001 年)の紙屋町地下街「シャレオ」開業等、新たな市街地の開発が進められました。

昭和 50 年(1975 年)の山陽新幹線の全線開通、54 年(1979 年)の広島空港(現広島ヘリポート)へのジェット機乗り入れ開始などの社会資本の整備とともに本市の経済も順調に成長しました。平成 6 年(1994 年)には市北部からの慢性的な交通渋滞を解消するため、祇園新道とともに新交通システム(アストラムライン)が開通し、27 年(2015 年)にはJR山陽本線との交差部に新白島駅が開業し、より一層公共交通網の強化が図られました。また、13 年(2001 年)には広島高速 4 号線(広島西風新都線)が開通、その後 1 号線、2 号線、3 号線が開通し、本格的な都市高速道路時代を迎えています。

都心の東の核である広島駅周辺地区では、昭和 56 年(1981 年)広島駅南口Aブロック第一種市街地再開発事業の計画を作成し、平成 11 年(1999 年)に事業が完了しました。駅周辺の整備は、21 年(2009 年)3 月の広島市民球場(マツダスタジアム)の完成を契機に一挙に加速し、29 年(2017 年)に隣接するBブロック、Cブロックの再開発が完了して新たなにぎわいを見せています。さらに、路面電車の駅前大橋ルートの新設を含む広島駅南口広場の再整備等も進めています。また、都心の西の核である紙屋町・八丁堀地区では、30 年(2018 年)の都市再生緊急整備地域の指定を受け民間によるビルの建て替えや再開発などを促進するとともに、広島の新たなシンボルとなるサッカースタジアムの建設なども進めています。



新しい市民球場(マツダスタジアム)が完成
(平成 21 年(2009 年))

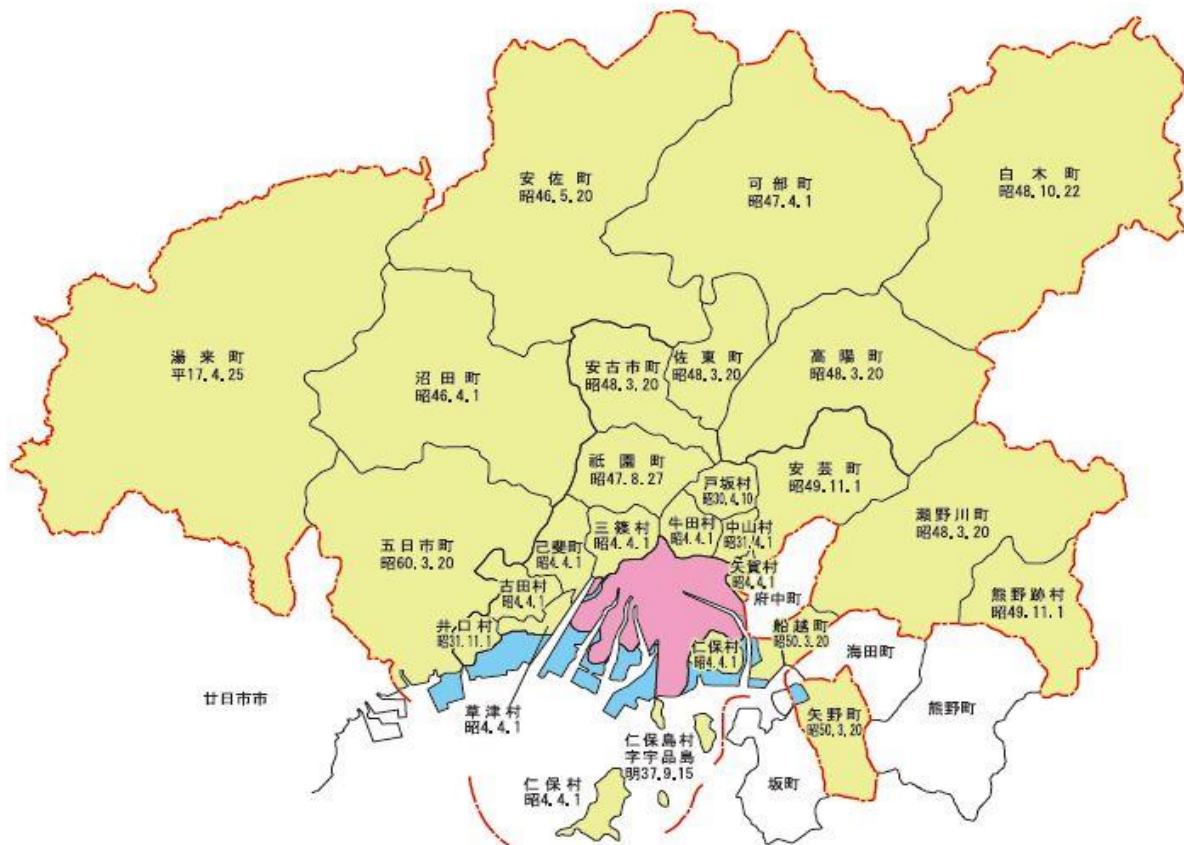


オバマ米国大統領の広島訪問
(平成 28 年(2016 年))

市街が整備され被爆建造物が取り壊されていくなかで、被爆の証人として残された原爆ドームは、平成 8 年(1996 年)には世界遺産へ登録されました。14 年(2002 年)には、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が設置され、広島平和記念資料館とともに被爆者の遺品や体験記などにより、原爆の悲惨さと平和の尊さを発信しています。

核兵器廃絶と世界平和の実現を訴え続けるヒロシマは国内外から高い関心を寄せられており、世界各国の要人が訪れています。最近では、平成 28 年(2016 年)5 月のオバマ米国大統領、令和元年(2019 年)のローマ教皇の広島訪問が世界の注目を集めました。なかでもオバマ大統領の広島訪問は、米国の現職大統領としては初めてのことであり、核兵器廃絶に向けた歴史的な一歩となりました。

● 市域の変遷



注：図中の日付は、広島市との合併年月日です。

凡 例	
	明治22年(1889年)4月1日市制施行時の市域
	合併により拡大した市域
	埋立により拡大した市域
	現在の市域界

● 面積

(単位: km²)

年 次	全 市	中 区	東 区	南 区	西 区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区
昭和55年(1980年)	675.62	14.74	39.77	23.92	34.49	117.24	352.11	93.35	—
昭和60年(1985年)	736.91	14.74	39.77	24.25	35.03	117.24	352.11	93.92	59.85
平成17年(2005年)	905.01	15.34	39.38	26.09	35.67	117.19	353.35	94.01	223.98
令和 4年(2022年)	906.69	15.32	39.42	26.46	35.61	117.03	353.33	94.08	225.43

注：各数値は、当時の市域によります。

(各年 10 月 1 日現在)

資料：国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」



主要年表

年号	西暦	できごと
縄文時代終り		比治山貝塚ができる
弥生時代		中山貝塚ができる
宝亀11年	780	牛田荘が大和国西大寺の荘園であった記録あり
応安 4年	1371	今川貞世が九州探題赴任の途中、干潮時、太田川の砂州を徒渉(としよう)(9月)
応永 4年	1397	五ヶ浦の地名が文書にあらわれる(厳島神社文書)
天文10年	1541	安芸国の守護武田氏、大内氏に攻められ滅亡(5月)
弘治 元年	1555	厳島合戦で毛利元就が陶氏を破る(10月)
天正17年	1589	毛利輝元が五ヶ(五ヶ村)で築城に着手、この地を「広島」と命名(4月)
19年	1591	広島城が完成し輝元入城(1月)
慶長 5年	1600	関ヶ原の戦いにより輝元は防長2か国に移される(10月)
6年	1601	福島正則広島城に入城(3月)
元和 5年	1619	城の無断修築の罪で正則は改易となり(6月)、信濃国川中島に転封(7月) 和歌山から浅野長晟入城(8月)
承応 2年	1653	大暴風雨と洪水で死者多数(8月)
寛文 元年	1661	段原村・比治山村・山崎新開・大黒新開・吉島新開の地詰めを行う(6月)
宝暦 8年	1758	白神五丁目から出火し、元安川以東の城下町の大部分が焼失(4月)
天明 3年	1783	この年の気候不順による凶作のため飢民多し
文政 8年	1825	広島藩の地誌「芸藩通志」完成(8月)、広島城下については「知新集」が文政5年に完成
元治 元年	1864	二度にわたり長州役、広島に幕府軍集結
慶応 2年	1866	
明 治		
2年	1869	版籍奉還、旧藩主浅野長勲が藩知事に任ぜられる(6月)
5年	1872	前年の廃藩置県に続き、広島は第一大区となる(4月)
6年	1873	広島に鎮台を置き、第五軍管広島鎮台と称する(11月)
11年	1878	郡区町村編制法により、広島区となる(11月)
22年	1889	市制施行(4月)、人口8万3,387人 市役所(中島新町)開庁(9月) 宇品港築港工事完了(11月)
27年	1894	糸崎・広島間の山陽鉄道開通(6月) 大本営を広島に設置(9月～翌年4月)、臨時帝国議会が広島で開会 市内に電灯ともる(10月)
32年	1899	広島市上水道が陸軍諸部隊及び市内一般に給水開始(1月)
33年	1900	広島郵便電信局内に電話交換局が設置(9月)、翌年2月交換開始
35年	1902	広島高等師範学校設置(4月)
37年	1904	安芸郡仁保島村宇品島を広島市に編入(9月)
38年	1905	横川・可部間に乗合自動車開業(2月)
42年	1909	広島瓦斯株式会社創立(10月)、翌年10月供給開始
大 正		
元年	1912	市内に電車軌道を敷設し、電車の運転を開始(11月)
4年	1915	芸備鉄道広島・三次間開通(6月)
7年	1918	全国的な米騒動が広島市にも波及し軍隊出動鎮圧(8月)
10年	1921	第4回全国菓子飴大品評会開催(4月)
昭 和		
3年	1928	日本放送協会中国支部広島放送局開局(7月)
4年	1929	昭和産業博覧会開催(3～5月) 安芸郡牛田村等隣接7か町村を広島市に合併(4月) 広島文理科大学創立(4月)
7年	1932	宇品港を広島港と改称(12月)
20年	1945	8月6日午前8時15分原子爆弾により広島市は壊滅

年号	西暦	できごと
昭和22年	1947	第1回平和祭開催(8月)
24年	1949	広島大学設置(5月) 「広島平和記念都市建設法」が公布(8月)
25年	1950	広島こども博覧会開催(10月～11月)
26年	1951	第6回国民体育大会開催(10月)
27年	1952	広島平和都市記念碑(原爆死没者慰霊碑)除幕(8月)
30年	1955	安芸郡戸坂村を広島市に合併(4月) 広島平和記念資料館が開館(8月)
31年	1956	安芸郡中山村(4月)、佐伯郡井口村(11月)を広島市に合併 広島原子力平和利用博覧会開催(5～6月)
32年	1957	旧広島市民球場完成、広島バスセンター開業(7月)
33年	1958	広島復興大博覧会開催(4～5月)
34年	1959	米国・ハワイ州ホノルル市と姉妹都市提携に調印(6月)
36年	1961	広島空港開港(9月)
39年	1964	人口50万人に達する(4月) 広島・小郡間電化完成に伴い国鉄山陽本線全線電化(10月)
40年	1965	太田川放水路通水(5月) 広島民衆駅完成(12月)
41年	1966	新広島国道開通(12月)
42年	1967	原爆ドーム保存工事が完了(8月)
43年	1968	「被爆者特別措置法」が公布(5月)
46年	1971	安佐郡沼田町(4月)、同郡安佐町(5月)を広島市に合併
47年	1972	安佐郡可部町(4月)、同郡祇園町(8月)を広島市に合併 ソ連・ボルゴグラード市と姉妹都市提携に調印(9月)
48年	1973	安佐郡安古市町・佐東町・高陽町・安芸郡瀬野川町(3月)、高田郡白木町(10月)を広島市に合併
49年	1974	市立中央図書館開館(10月) 安芸郡熊野跡村・安芸町を広島市に合併(11月)
50年	1975	安芸郡矢野町・船越町を広島市に合併(3月) 山陽新幹線岡山・博多間が開通(3月) 長崎市と平和文化都市提携に調印(8月) 広島東洋カープがセントラルリーグ初優勝(10月)
52年	1977	第1回ひろしまフラワーフェスティバルを開催(5月)
53年	1978	国連軍縮特別会議に市長が列席、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を開催(5月) 「国連軍縮週間」で原爆被害写真展等を実施(10月)
55年	1980	政令指定都市広島誕生、7区役所開所(4月)
56年	1981	ローマ法王来広、平和記念公園から全世界へ向けて平和アピールを発表(2月) 広島市の人口90万人を超える(8月)
57年	1982	西部開発事業竣工(3月) 市長、国連軍縮特別総会で核兵器の廃絶を訴える(6月)
58年	1983	西独・ハノーバー市と姉妹都市提携に調印(5月)
60年	1985	佐伯郡五日市町を広島市に合併、人口100万人を超える(3月) 85ワールドカップマラソン広島大会を開催(4月) 第1回世界平和連帯都市市長会議を開催(8月) 第1回国際アニメーションフェスティバル広島大会を開催(8月)
61年	1986	中国・重慶市と友好都市提携に調印(10月) 国際駅伝広島大会を開催(11月)
62年	1987	ジャーナリスト国際平和シンポジウムを開催(8月)
63年	1988	祇園新道が開通(暫定)(3月)

年号	西暦	できごと
平成		
元年	1989	現代美術館が開館(5月) 広島国際会議場が開館(7月) 89海と島の博覧会・ひろしまを開催(7月～10月) 第2回世界平和連帯都市市長会議を開催(8月)
3年	1991	新交通システムで橋げた落下事故が発生(3月) 世界平和連帯都市市長会議が国連憲章に基づくNGO(非政府組織)として認定される(5月) 広島ビッグウェーブ(総合屋内プール)が開館(8月) 台風19号が大きな被害をもたらす(9月)
4年	1992	国連軍縮広島会議を開催(6月) 広島ビッグアーチ(広島広域公園陸上競技場)が完成(10月) 第10回アジアカップサッカー選手権決勝大会を開催(10月)
5年	1993	比治山トンネル開通(1月) 広島空港(三原市)、広島西飛行場が開港(10月)
6年	1994	広島市立大学開学(4月) アストラムライン開業(8月) 第12回アジア競技大会を開催(10月)
7年	1995	原爆ドームが文化財保護法の史跡に指定される(6月) 市長、オランダ・ハーグの国際司法裁判所で核兵器の違法性について口頭陳述(11月)
8年	1996	第1回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会(ひろしま男子駅伝)開催(1月) 第1回フードフェスタ広島開催(2月) ひろしま国体開催(9～10月) 個人情報保護条例施行(10月) 原爆ドームの世界遺産一覧表への登録が決定(12月)
9年	1997	韓国・大邱広域市と姉妹都市提携に調印(5月)
10年	1998	カナダ・モントリオール市と姉妹都市提携に調印(5月)
11年	1999	広島駅南口Aブロック再開発ビル「エールエールA館」オープン(4月) 集中豪雨により大きな被害が発生(6月)
12年	2000	広島高速3号線(広島南道路)一部開通(3月) 都市計画道路・鷹野橋宇品線開通(3月) 第15回国民文化祭・ひろしま2000開催(11月)
13年	2001	芸予地震発生(3月) 紙屋町地下街「シャレオ」開業(4月) 広島西風新都インターチェンジ開通(7月) 第5回世界平和連帯都市市長会議開催(8月) 広島はつかいち大橋開通(8月) 金座街地区第6街区市街地再開発ビル「パルコ新館」オープン(10月) 広島高速4号線(広島西風新都線)開通(10月) 2001ねんりんピック広島開催(10月)
14年	2002	暴走族追放条例施行(4月) 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が開館(8月) スポレク広島2002開催(10月) 広島国際フェリーポート完成(10月) ライトアップ「ひろしまドリミネーション」開催(12月)
15年	2003	中高一貫教育校市立安佐北中学校が開校(4月) 太田川花火大会を統合し、広島みなと夢花火大会を開催(7月) 国道2号西広島バイパス観音高架橋が開通(10月)
16年	2004	ばい捨て等の防止に関する条例の罰則がスタート(1月) 第1回日米都市サミット広島2004開催(11月)

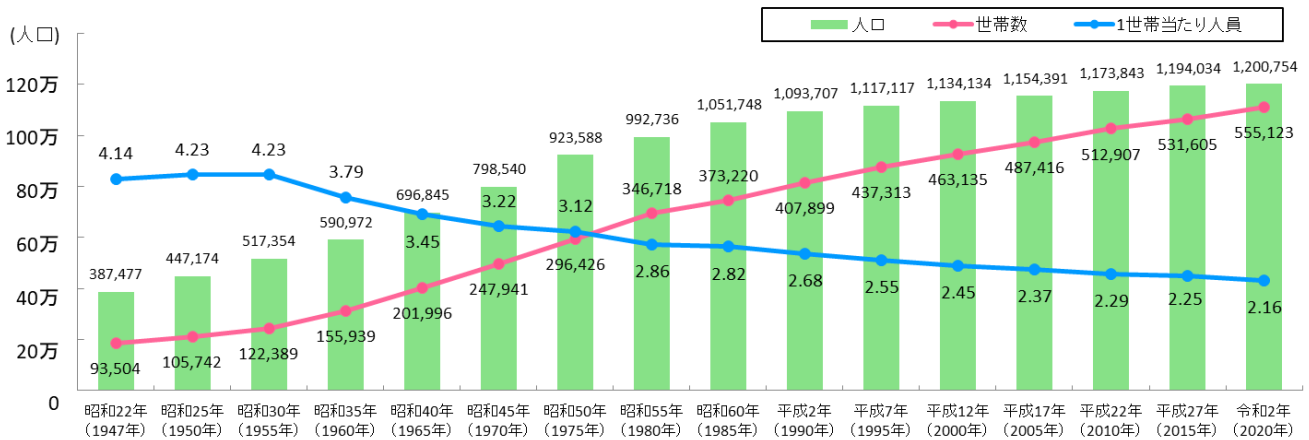
年号	西暦	できごと
平成17年	2005	佐伯郡湯来町を広島市に合併(4月) 広島城秋まつりとフードフェスタ広島を統合し、ひろしまフードフェスティバルを開催(10月)
18年	2006	広島平和記念資料館の本館と世界平和記念聖堂が国の重要文化財指定(7月) 広島高速1号線(安芸府中道路)全線開通(10月) 「ひろしま型義務教育創造特区」を国が認定(11月)
19年	2007	平和記念公園が国の名勝指定(2月) 広島の歴史や文化、自然などに関する知識を問う「ひろしま通認定試験」開始(2月) 全米101都市で開催する「原爆展」開始(9月)
20年	2008	交通系ICカード「PASPY(パスピー)」導入(1月) 「ザ・広島ブランド」を創設し20品認定(3月) 主要8か国の下院議会及び欧州議会の長が一堂に集うG8下院議長会議開催(9月)
21年	2009	マツダスタジアム竣工式(3月) 広島・長崎両市長がNPT再検討会議準備委員会等に出席し、スピーチ(5月) 新しい基本構想と第5次基本計画を策定(10月) 「LRT都市サミット広島2009」を開催(10月) インターネット関連では世界最大級の国際会議「第76回ETF広島会議」開催(11月)
22年	2010	「2010年日本APEC(アジア太平洋経済協力会議)」の広島高級実務者会合を開催(2月) 「インターアクション・カウンシル年次総会(OBサミット)」を開催(4月) 広島高速2号線(全線)と3号線(宇品～吉島)が開通(4月) 「2020核廃絶広島会議」を開催(7月) 被爆65年目の平和記念式典に潘基文国連事務総長が列席(8月) JR広島駅新幹線口の若草町地区市街地再開発事業において再開発ビルが完成(8月) 「ノーベル平和賞受賞者世界サミット」開催(11月)
23年	2011	平和市長会議の加盟都市が5,000都市を突破(9月)
24年	2012	平和市長会議国内加盟都市会議を初開催(1月) 被爆体験伝承者の養成事業スタート(7月) 広島ヘリポートが供用開始(11月)
25年	2013	第26回全国菓子大博覧会・広島(ひろしま菓子博2013)を開催(4月～5月)
26年	2014	NPDI広島外相会合を開催(4月) 土砂災害により甚大な被害が発生(8月)
27年	2015	新白島駅の開業(3月) 国連軍縮会議を開催(8月)
28年	2016	本市と広島広域都市圏内の23市町との間で連携協約を締結(3月) G7外相会合を開催(4月) オバマ米国大統領が現職大統領として初めて広島を訪問(5月) 広島駅南口Bブロック市街地再開発ビル「BIG FRONT ひろしま」が完成(8月) 広島駅南口Cブロック市街地再開発ビル「EKICITY HIROSHIMA」が完成(12月)
29年	2017	一部区間が廃止されたJR可部線が、可部～あき亀山間で電化延伸されて開業(3月) 広島駅自由通路の全面利用を開始(10月) 賢人会議・国連軍縮会議を開催(11月)
30年	2018	都市型スポーツの国際大会「FISE(フィセ)」が広島で日本初開催(4月) 豪雨災害により甚大な被害が発生(7月)
令和元年	2019	浅野氏広島城入城400年記念イベントを開催(9月) ローマ教皇来広、平和記念公園から核兵器廃絶と平和への思いを込めたメッセージを発信(11月)
2年	2020	令和2年国勢調査による広島市の人口が120万人を超える(10月)
4年	2022	第1回ひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)を開催(8月)



統計で見る広島市

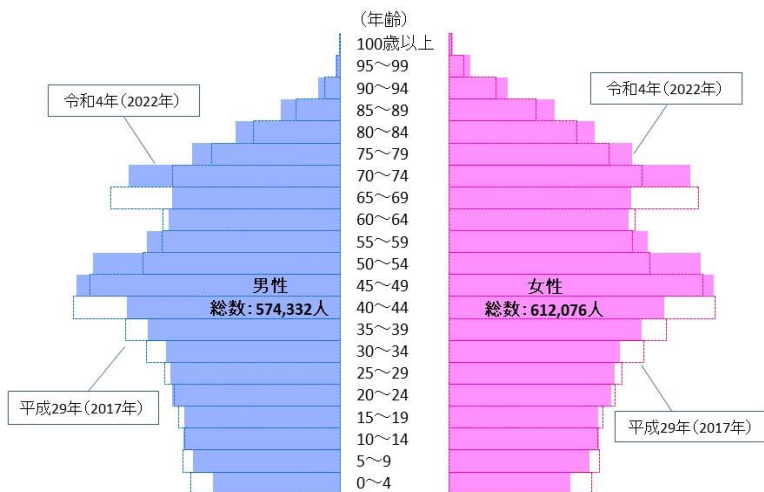
—人口—

人口・世帯数の推移



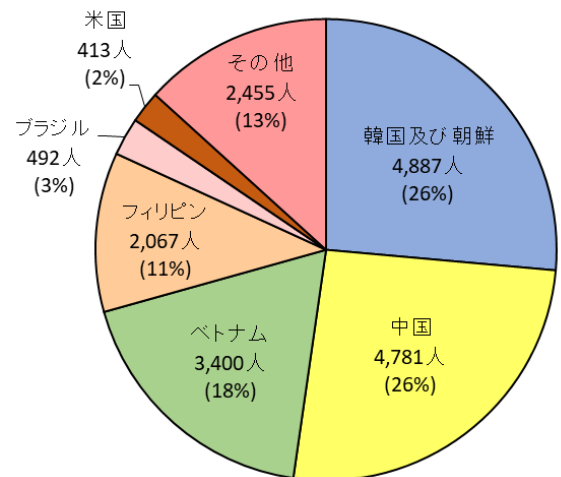
注：広島市の数値は、現在の市域に組み替えたものです。
資料：国勢調査

人口ピラミッド



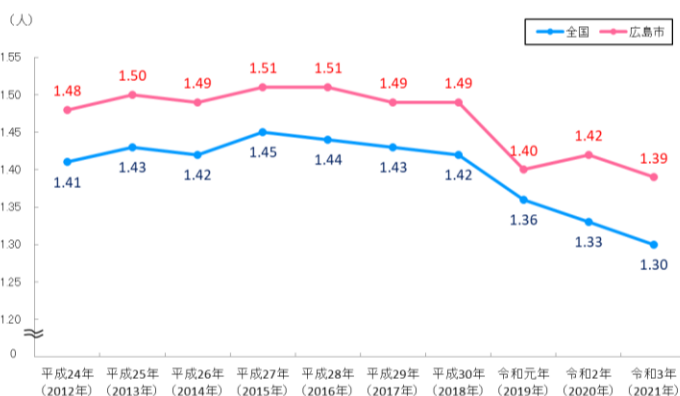
資料：住民基本台帳(各年3月末現在)

国籍別外国人人口



資料：住民基本台帳(令和4年3月末現在)

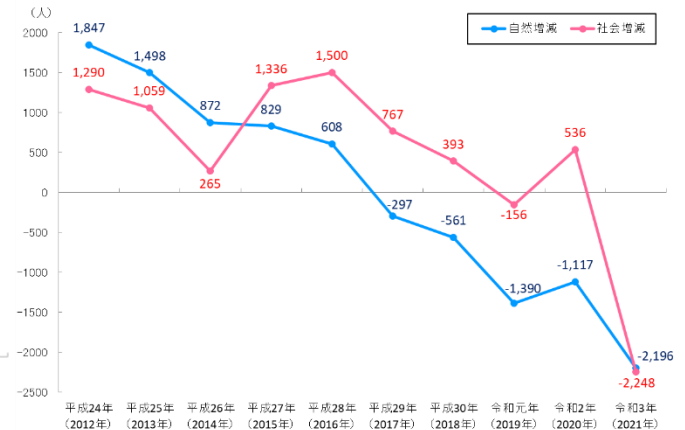
合計特殊出生率の推移



注：合計特殊出生率とは、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したものです。

資料：人口動態統計，広島市企画総務局

人口動態の推移



注1：自然増減=出生数-死亡数、社会増減=転入数-転出数(市内の区間異動を含みません)

注2：転入には職権記載等を含み、転出には職権削除等を含みます。

注3：外国人を除きます。

資料：人口動態統計(自然増減)，住民基本台帳(社会増減)



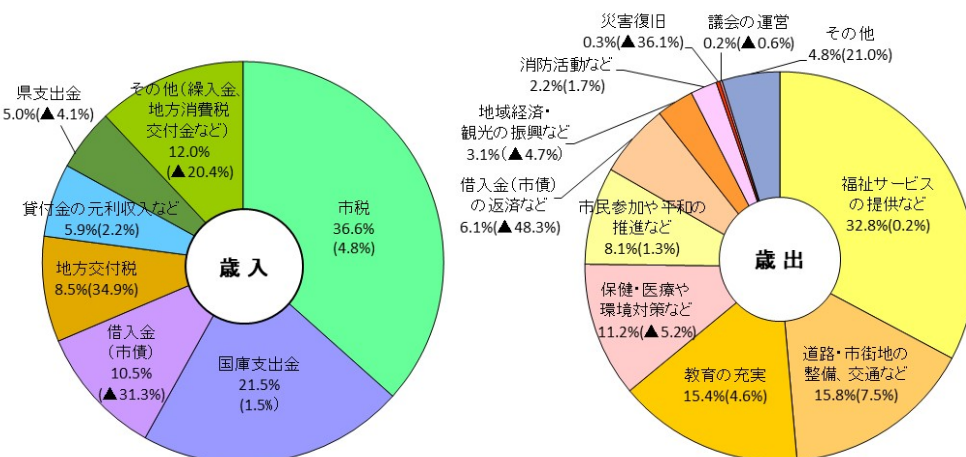
統計で見る広島市 ー財政状況ー

令和4年度(2022年度)当初予算規模

区分	予算額	対前年度増減率
一般会計	6,589億6,291万3千円	▲3.6%
特別会計	4,149億952万5千円	▲5.0%
企業会計	1,476億2,347万7千円	0.1%
全会計	1兆2,214億9,591万5千円	▲3.7%

資料:広島市財政局

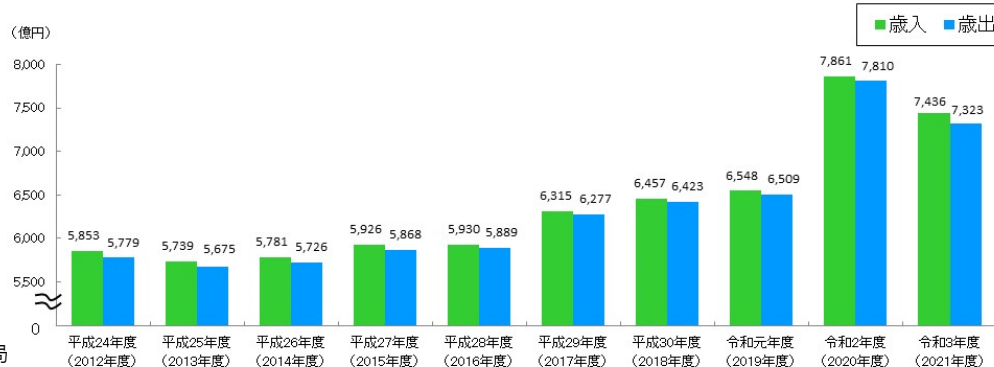
令和4年度(2022年度)当初予算一般会計の内訳



注:()内は対前年度増減率を示します。

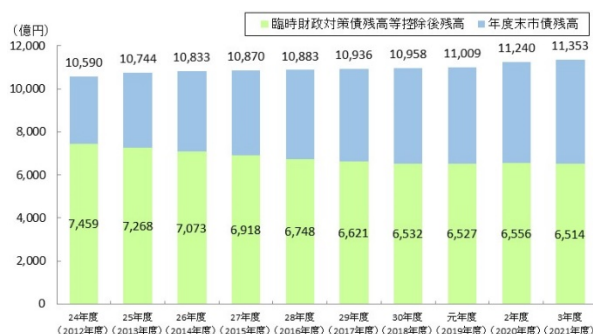
資料:広島市財政局

一般会計歳入・歳出決算額の推移



資料:広島市財政局

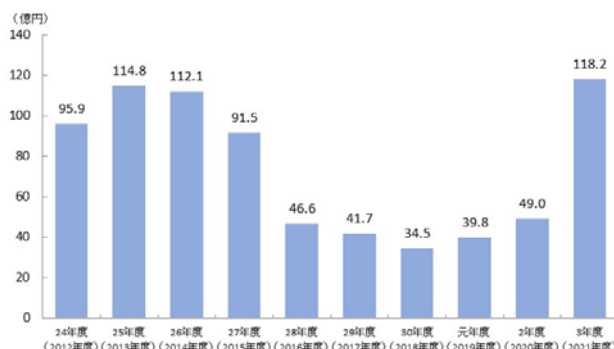
市債(借金)残高の決算の推移



注:臨時財政対策債残高等控除後残高とは、市債残高の総額から、臨時財政対策債残高と、将来の返済に備えて減債基金に積み立てている額を除いた額のことです。

資料:広島市財政局

財政調整基金(貯金)残高の決算の推移

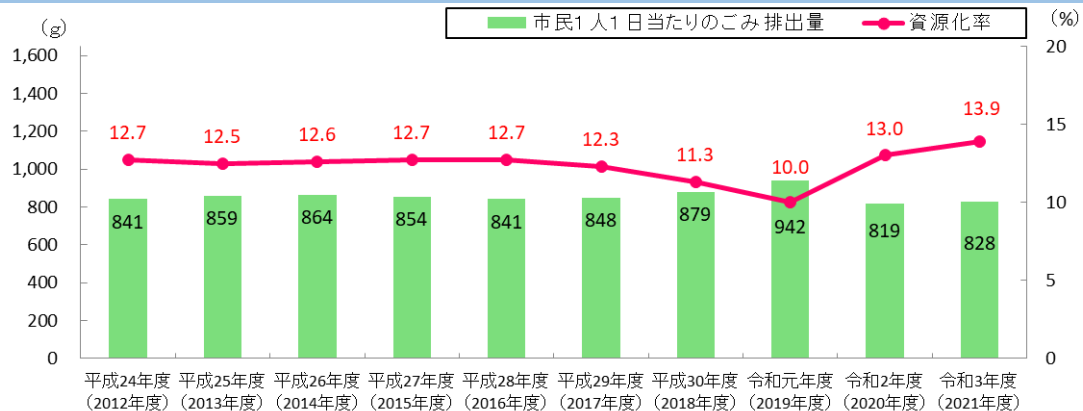


資料:広島市財政局



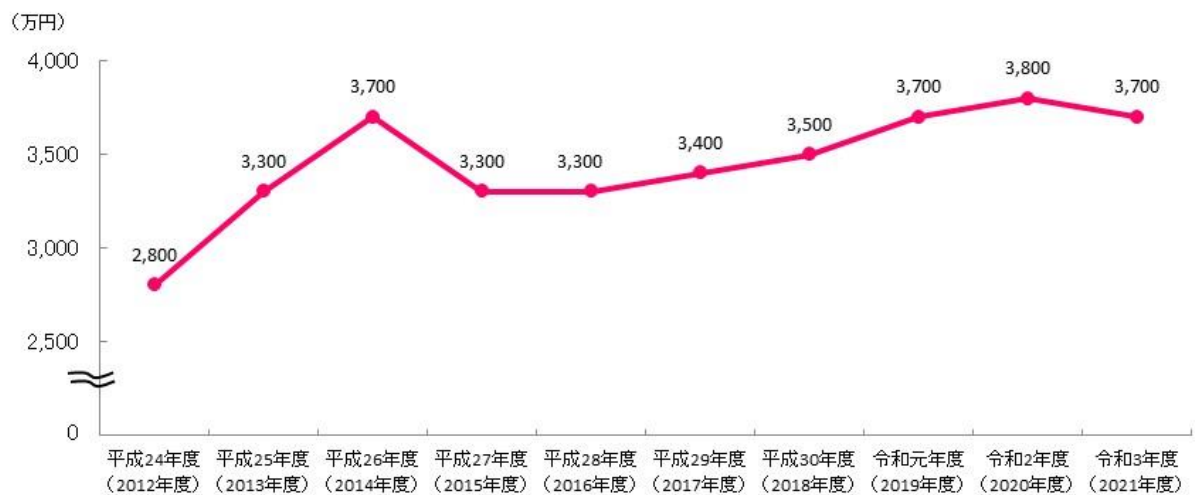
統計で見る広島市 -ごみ・環境問題-

市民一人当たりのごみ排出量と資源化率の推移



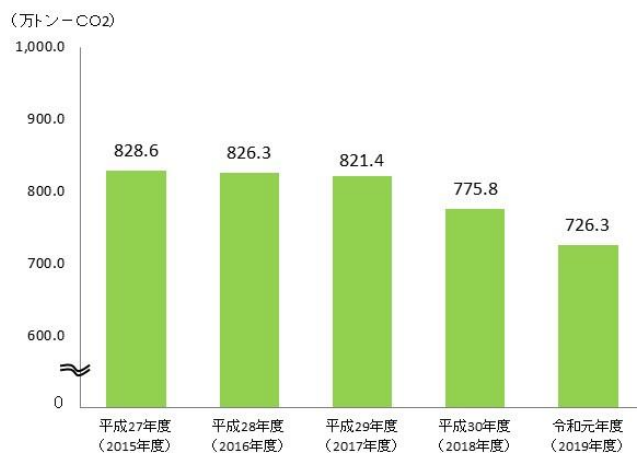
注1: 市民一人当たりのごみ排出量とは、総排出量を9月末現在人口(日本人+外国人)で除した数値です。
 注2: 平成26年度、平成27年度、平成28年度、平成30年度及び令和元年度には災害廃棄物(平成26年8月20日豪雨災害、平成30年7月豪雨災害)を含みます。
 資料: 広島市環境局

一日当たりのごみ処理経費の推移



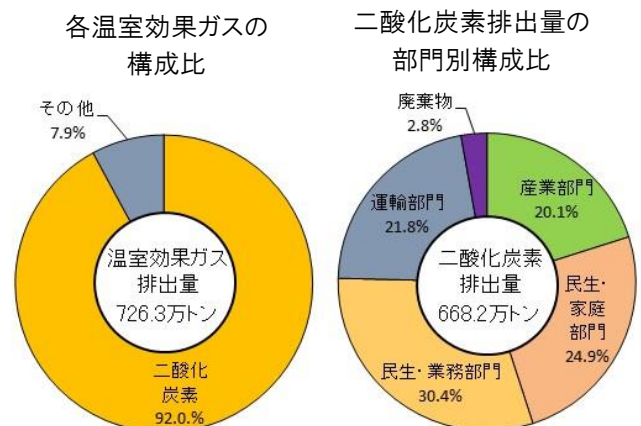
資料: 広島市環境局

温室効果ガス総排出量の推移



資料: 広島市環境局

温室効果ガス排出量の構成(令和元年度)

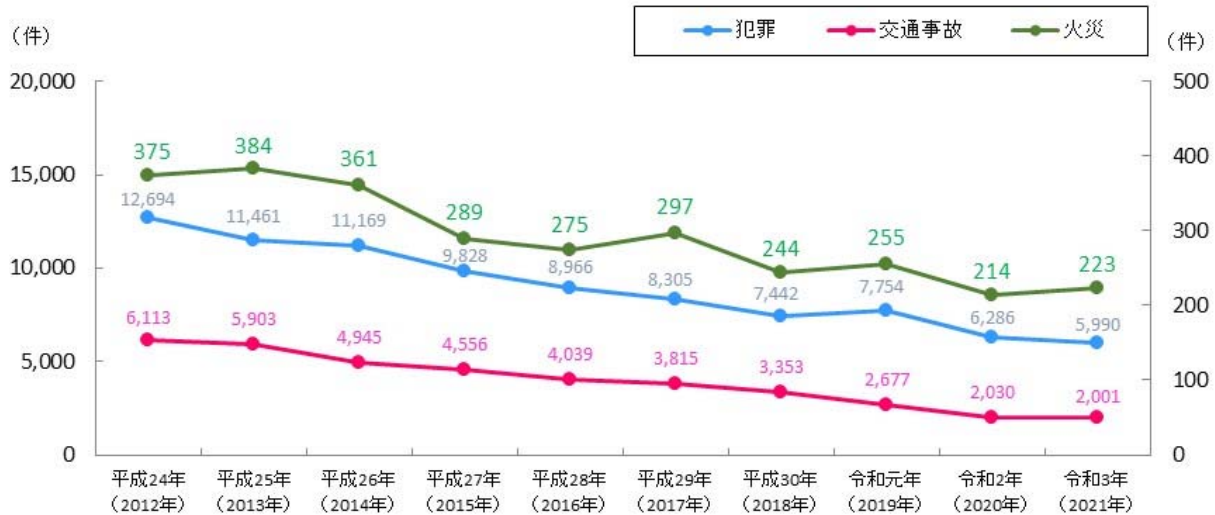


注: その他は、メタン、一酸化二窒素及び代替フロン等4ガスです。
 資料: 広島市環境局



統計で見る広島市 -安全・安心-

犯罪・交通事故・火災発生件数の推移



資料：広島県犯罪統計資料、広島市道路交通局、広島市消防局

犯罪・交通事故・火災発生件数の内訳(令和3年)

犯罪認知件数の内訳						
総数	凶悪犯(殺人・強盗など)	粗暴犯(暴行・傷害など)	窃盗犯(自転車・万引きなど)	知能犯(詐欺・横領など)	風俗犯(賭博、わいせつなど)	その他
5,990	52	557	3,779	493	66	1,043

交通事故発生件数の原因別内訳							
総数	安全運転義務違反	交差点安全進行義務違反	歩行者等妨害(※1)	信号無視(※2)	一時不停止	優先通行妨害	その他
2,001	838	288	169	81	88	144	393

火災発生件数の原因別内訳							
総数	たばこ	放火・放火の疑い	こんろ	たき火	電気機器	排気管	その他
223	28	26	29	19	10	10	101

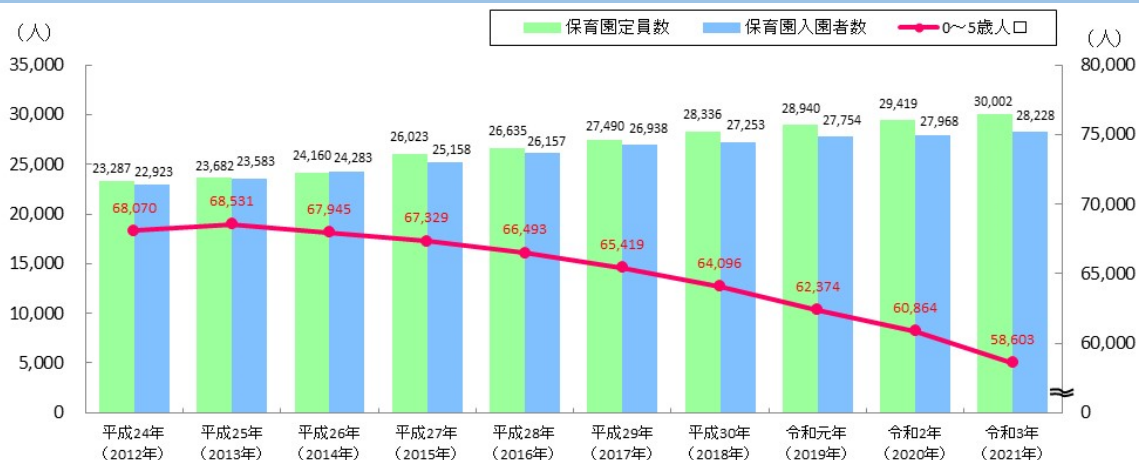
※1：横断自転車妨害を含みます。
 ※2：歩行者の信号無視を含みます。

資料：広島県犯罪統計資料、広島市道路交通局、広島市消防局



統計で見る広島市 -子ども・教育-

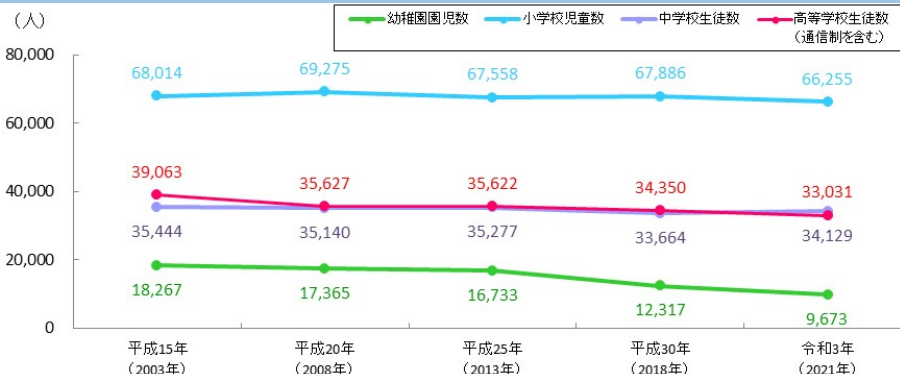
保育園入園状況の推移



注：保育園定員数・入園者数は各年5月1日現在の数値、0～5歳人口は各年4月末日の数値です。

資料：広島市こども未来局

園児数・児童数・生徒数の推移



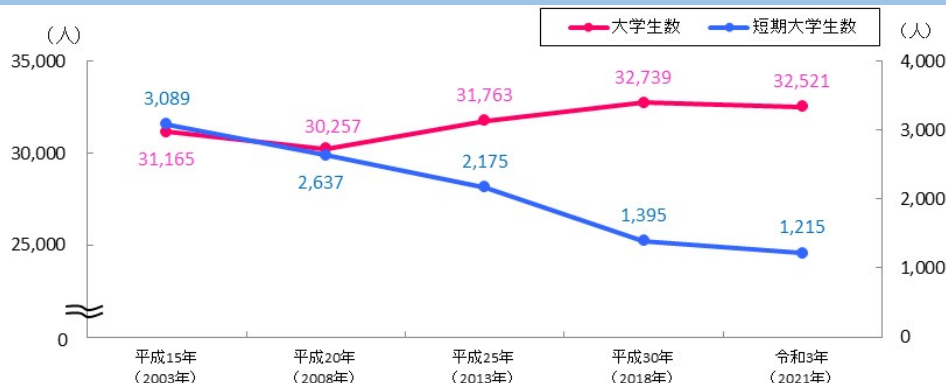
注1：平成30年度からは、中学校生徒数には、夜間その他特別な時間において授業を行う学校の生徒数を含んでいません。

注2：高等学校生徒数のうち通信制の生徒数には、他からの併修者を含んでいません。

注3：各年5月1日現在の数値です。

資料：学校基本調査

短期大学・大学生数の推移



注1：大学生数は、市内に学部等が所在するものに係る数値であり、大学院、専攻科及び別科の学生並びに科目等履修生等を含みます。

注2：短期大学生数は、市内に学科が所在するものに係る数値であり、専攻科及び別科の学生並びに科目等履修生等を含みます。

注3：各年5月1日現在の数値です。

資料：学校基本調査

各学校数(令和3年5月1日現在)

幼稚園数	小学校数	中学校数	高等学校数	短期大学数	大学数
86	147	79	44	4	13

注1：高等学校数は、併置の学校についてはまとめて1校としています。

注2：短期大学数は、市内に短期大学本部が所在するものに係る数値です。

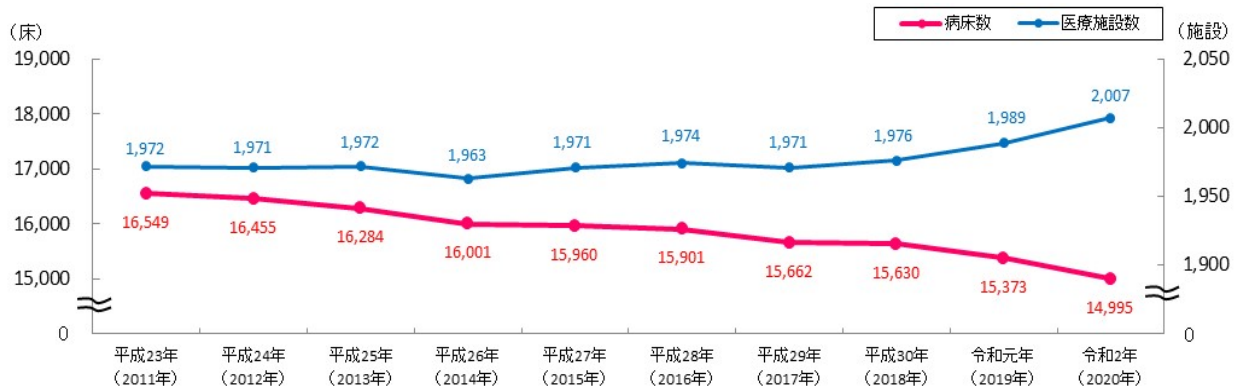
注3：大学数は、市内に大学本部が所在するものに係る数値です。

資料：学校基本調査



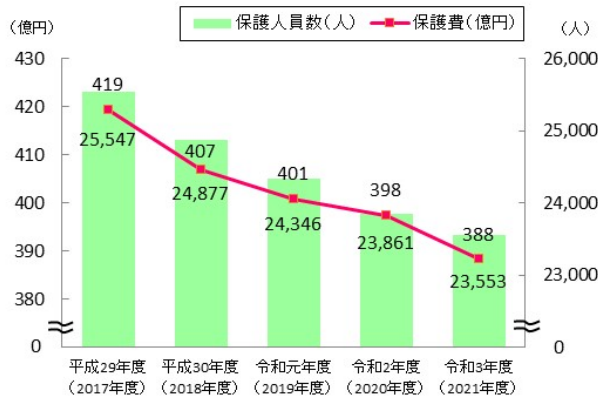
統計で見る広島市 —健康・福祉—

病床数・医療施設数の推移



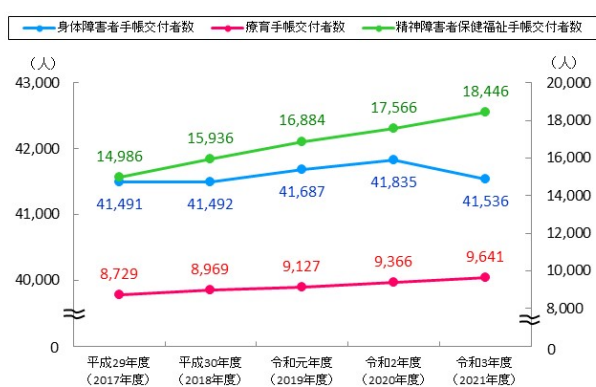
注：病床数と医療施設数は、病院と一般診療所・歯科診療所を合わせた数値です。
資料：医療施設調査

生活保護人員・保護費の推移



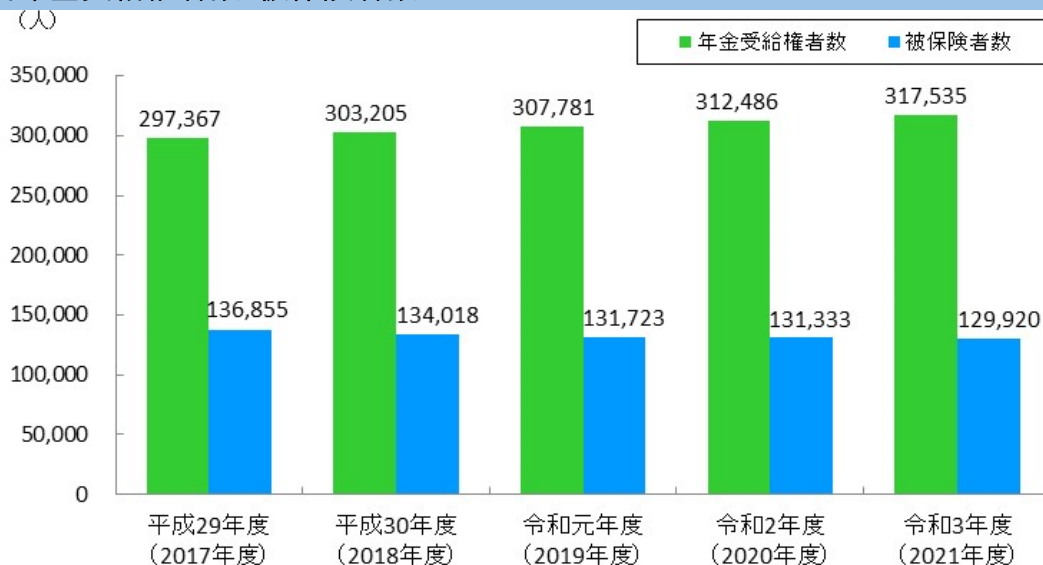
注：保護人員数は年度間の月平均数です。なお、保護停止中のものを含みます。
資料：広島市健康福祉局

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付者数



注：各年度末の数値です。
資料：広島市健康福祉局

国民年金受給権者数・被保険者数



注1：年金受給権者数は、拠出制及び無拠出制の各年金受給権者数の合計です。
注2：被保険者数は、第1号及び任意加入の各被保険者数の合計です。
注3：各年度末の数値です。
資料：広島市健康福祉局



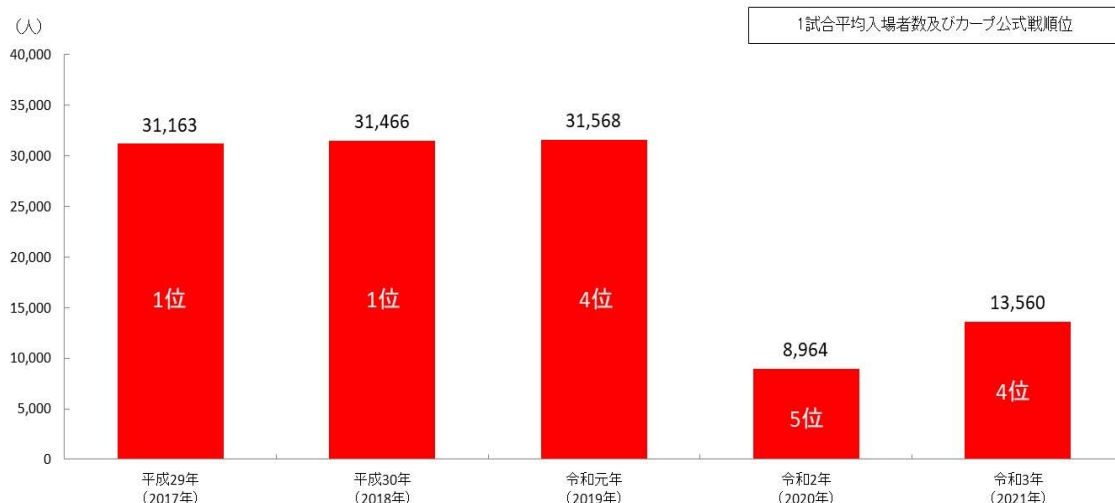
統計で見る広島市 -文化・スポーツ-

広島交響楽団 観客数・演奏会(広島交響楽団主催の市内分)回数



資料: 広島市市民局

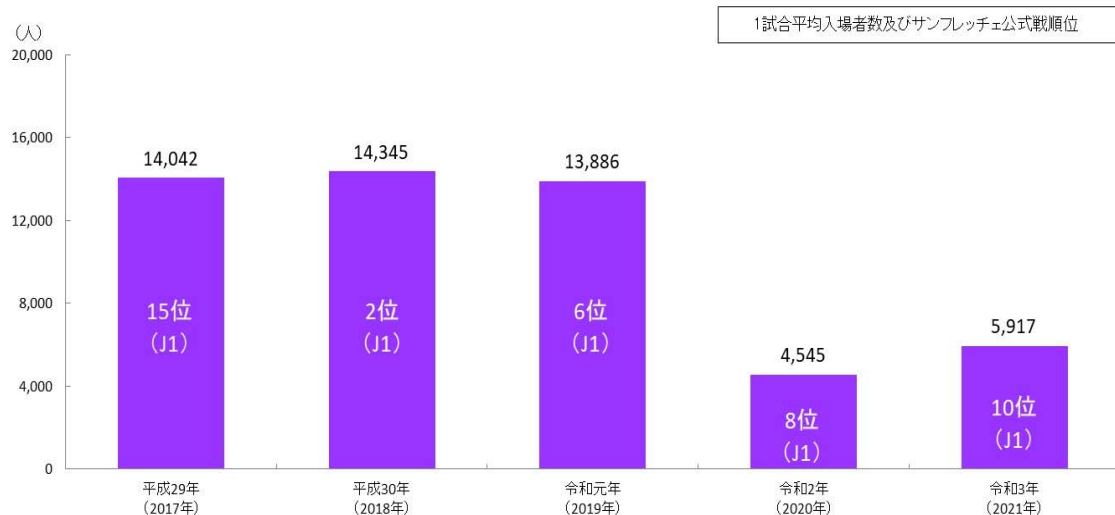
広島市民球場(マツダスタジアム) プロ野球公式戦開催状況



注: CS、日本シリーズの入場者数を含みます。

資料: 広島市都市整備局

広域公園陸上競技場(エディオンスタジアム広島) Jリーグ公式戦開催状況

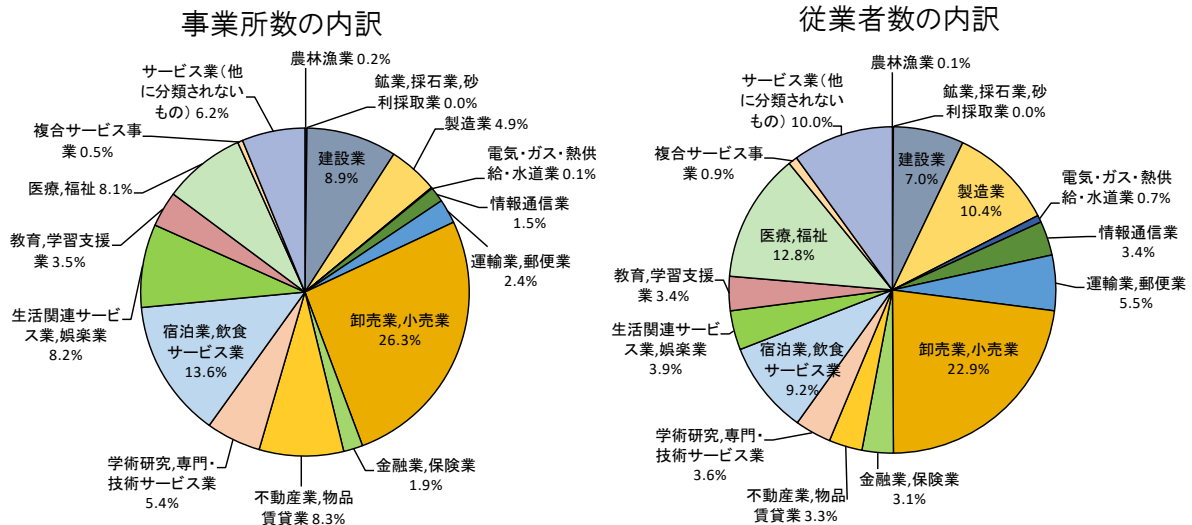


資料: 広島市都市整備局



統計で見る広島市 -産業・雇用-

産業別事業所数・従業者数の内訳



資料：平成 28 年経済センサス活動調査

農業・商業・工業における事業所数等の推移

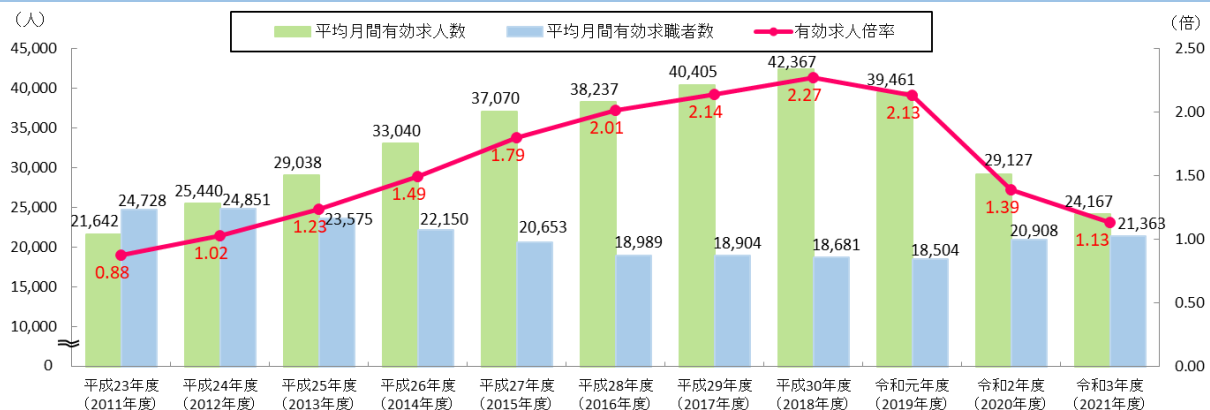
農業				
	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
農業経営体数	2,521	2,134	1,751	1,350
基幹的農業従事者数（人）	2,600	2,602	2,184	1,702

商業（卸売業、小売業）					
	平成16年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年
事業所数	15,060	13,872	14,332	14,418	14,045
従業者数（人）	130,549	120,985	133,048	134,657	133,225
年間商品販売額（億円）	80,326	76,967	69,921	68,301	78,442

工業（製造業）					
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
事業所数	1,201	1,161	1,126	1,109	1,147
従業者数（人）	54,674	55,734	56,341	55,772	52,285
製造品出荷額等（億円）	30,180	32,076	31,667	31,008	28,049

注：基幹的農業従事者数は、平成 27 年以前は販売農家に係る数値であり、令和 2 年は個人経営体に係る数値です。
資料：農林業センサス、商業統計調査、工業統計調査、経済センサス

求人・求職者・求人倍率推移



注 1：求人数及び求職者数は広島・広島東・可部公共職業安定所の合計です。

注 2：有効求人倍率＝平均月間有効求人数／平均月間有効求職者数

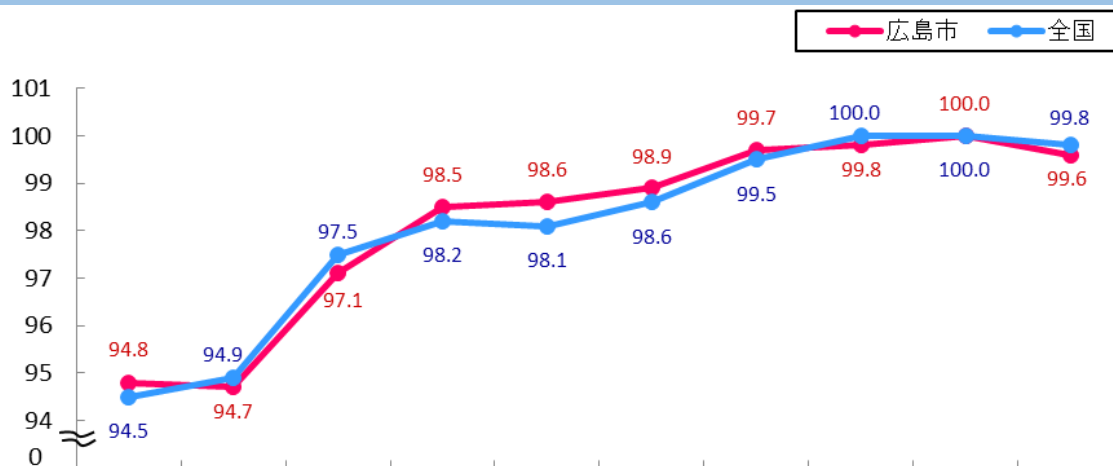
資料：広島公共職業安定所、広島東公共職業安定所、可部公共職業安定所



統計で見る広島市

—物価・家計—

消費者物価指数(総合)の推移(令和2年基準)

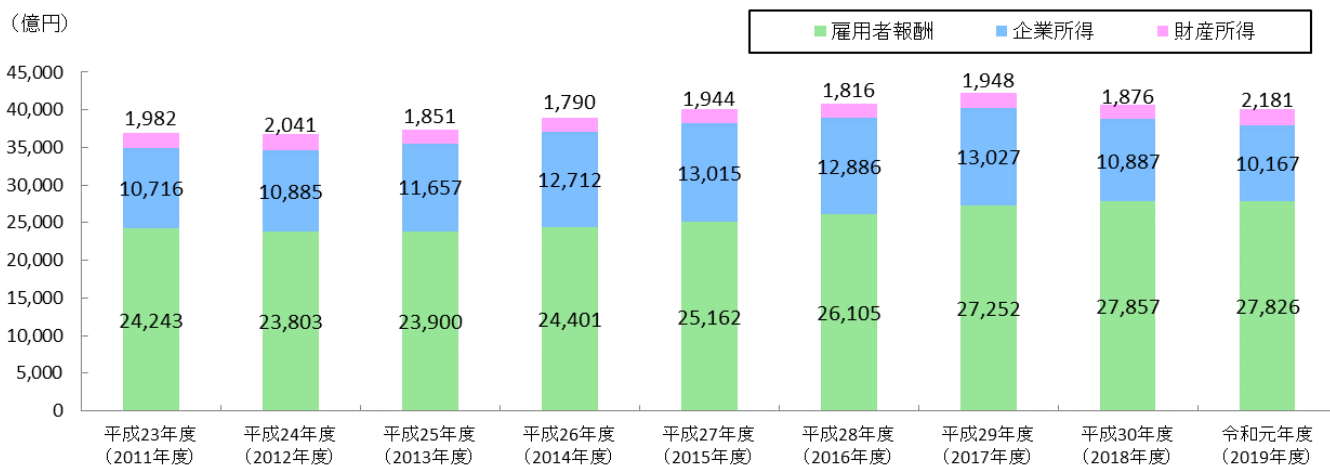


平成24年 平成25年 平成26年 平成27年 平成28年 平成29年 平成30年 令和元年 令和2年 令和3年
(2012年) (2013年) (2014年) (2015年) (2016年) (2017年) (2018年) (2019年) (2020年) (2021年)

注: 消費者物価指数は、全国の世帯が購入する各種の商品(財・サービス)の価格の平均的な変動を測定するものです。ある時点での世帯の消費構造を基準に、これと同等のものを購入した場合に必要な費用がどのように変動したかを指数値で表しています。

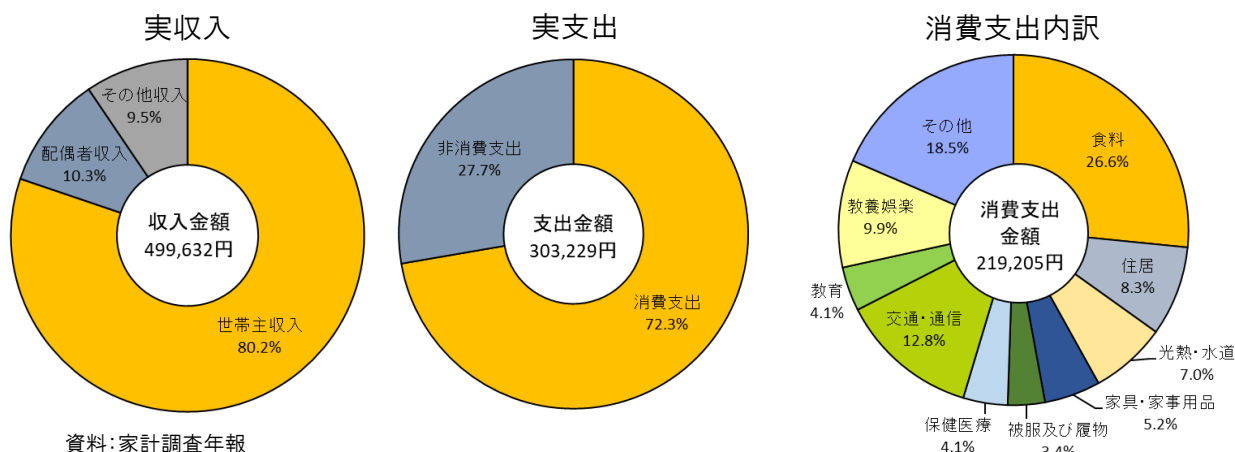
資料: 消費者物価指数年報

市民所得(分配)の推移



資料: 広島市市民経済計算

勤労者一世帯当たり一か月の収入と支出(令和3年平均)

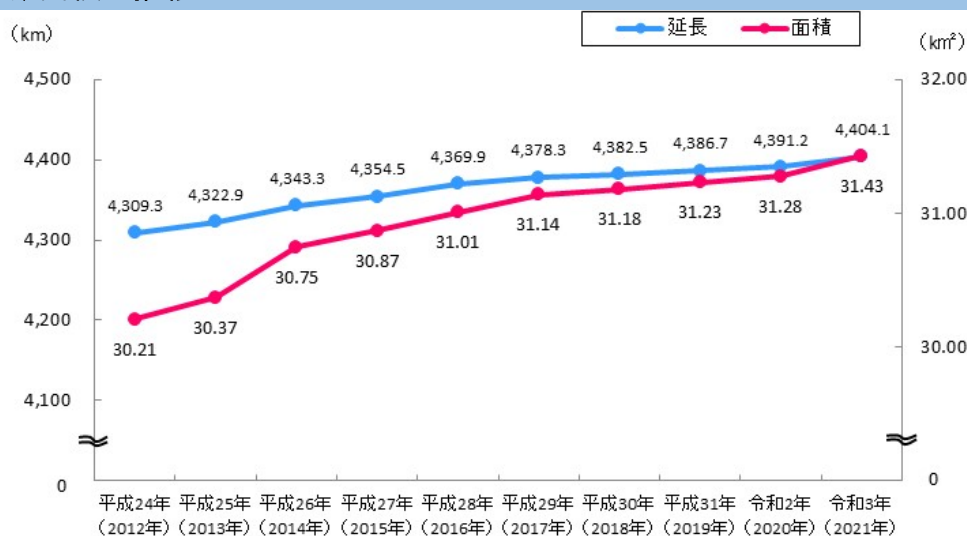


資料: 家計調査年報



統計で見る広島市 —道路・交通—

道路延長、面積の推移

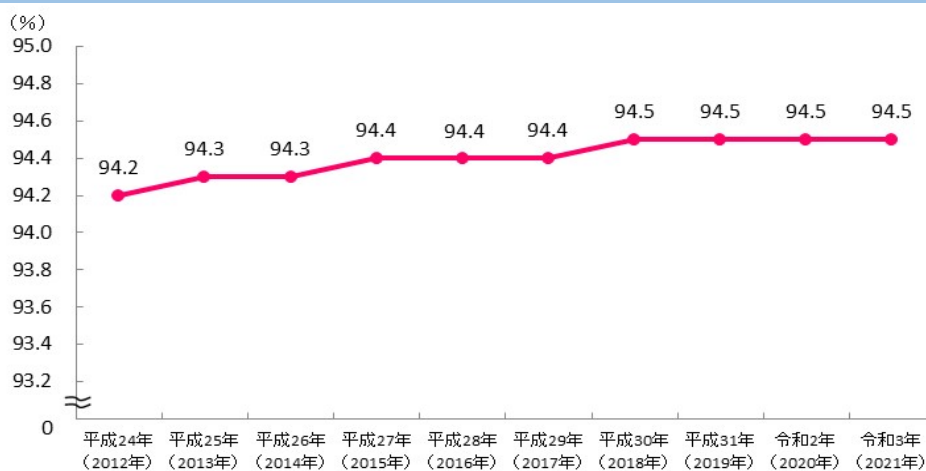


注 1: 有料道路を除きます。

注 2: 各年 4 月 1 日現在の数値です。

資料: 広島市道路交通局

道路舗装率(延長比)の推移

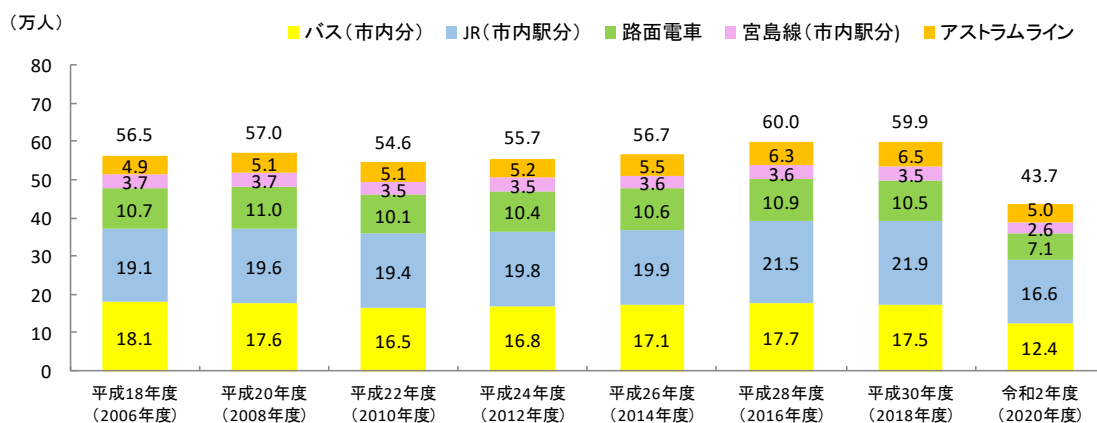


注 1: 有料道路を除きます。

注 2: 各年 4 月 1 日現在の数値です。

資料: 広島市道路交通局

交通機関別「一日当たり乗車人員」の推移



資料: 広島市統計書

A black and white photograph of a large, multi-story building with a prominent central tower and a large arched entrance. The building is surrounded by trees and a paved area with some parked cars. The word "COLUMBIA" is visible on a sign in the foreground.

広島市の概要

市の木 楠の木 (クスノキ)

市の花 夾竹桃 (キョウチクトウ)

姉妹 (友好) 都市

ポノルル市 (アメリカ合衆国) (昭和34年)

ボルゴグラード市 (ロシア連邦) (昭和47年)

ハンバー市 (ドイツ連邦共和国) (昭和58年)

重慶市 (中華人民共和国) (昭和61年)

大邱広域市 (大韓民国) (平成9年)

モントリオール市 (カナダ) (平成10年)

長崎市 (長崎県) (昭和50年)

広島市の主な位置

東端 東経132° 41′ 39″
(安佐北区白木町井原)

西端 東経132° 10′ 43″
(佐伯区湯来町多田)

南端 北緯34° 17′ 49″
(南区広島町)

北端 北緯34° 36′ 54″
(安佐北区安佐町鈴張)

市役所 東経132° 27′ 19″
北緯34° 23′ 07″
(中区国泰寺町一丁目6番34号)

1 面積 (単位: km²)

市域面積 (令和4.10.1) 906.69

中 区 15.32 東 区 39.42

南 区 26.46 西 区 35.61

安佐南区117.03 安佐北区353.33

安 芸 区 94.08 佐 伯 区225.43

都市計画区域面積 (令和4.3.31) 399.29

市街化区域面積161.48

市街化調整区域面積237.81

2 気 象 (令和3年)

気 温

平均17.1℃

最高38.0℃ (8月6日)
最低-4.5℃ (1月9日)

降水量
年合計2,267.0mm
日最大1時間降水量42.5mm (7月8日)

天気日数
快晴27日 晴れ180日 曇り51日 雨107日

3 人 口 (調査時市域による)

市制施行 (明治22年) 83,387人

終戦前ピーク (昭和17年) 419,182人

戦後最小人口 (昭和20年) 137,197人

100万人突破 (昭和60年) 1,024,072人

国勢調査人口 (令和2年) 1,200,754人
(世帯数555,123)

最近の人口と世帯 (令和4.9.30)

1,185,952人

男 574,109人

女 611,843人

世帯数 578,823世帯
(住民基本台帳)

昼間人口 (令和2.10.1) 1,214,150人

流入 (令和2.10.1) 82,581人
(通勤70,003人, 通学12,578人)

流出 (令和2.10.1) 69,185人
(通勤62,562人, 通学6,623人)

昼夜間人口比率 (令和2.10.1) 101.1
(昼間人口 / 常住人口)

区別人口と世帯 (令和4.9.30)

中区 136,602人 / 79,802世帯

東 区 118,753人 / 57,229世帯

南 区 141,207人 / 71,857世帯

西 区 187,103人 / 95,663世帯

安佐南区 244,007人 / 108,401世帯

安佐北区 139,998人 / 65,968世帯

安 芸 区 77,420人 / 35,685世帯

佐 伯 区 140,862人 / 64,218世帯

年齢3区分別人口 (令和4.9.30)

(住民基本台帳) 1,185,952人

0～14歳	154,698人
15～64歳	722,909人
65歳以上	308,345人

平均年齢(令和4.9.30)

46.35歳(男44.79歳、女47.81歳)

平均寿命(令和2年)男82.53歳 女88.41歳

人口動態(令和3年)

出生	8,799人/1日に24人
死亡	10,995人/1日に30人
婚姻	5,310件/1日に15件
離婚	1,780件/1日に5件

転出入(令和3年、外国人を除く。区間移動は含まない)

転入	34,260人
転出	36,508人

4 経 済

事業所(平成28.6.1/公務を除く)

事業所数	53,327
従業者数	581,331人

商 業(平成28.6.1)

卸売業	事業所数	5,291
	従業者数	54,098人
	年間商品販売額	6兆3,808億円
小売業	事業所数	8,754
	従業者数	79,127人
	年間商品販売額	1兆4,633億円

工 業(平成28.6.1)

事業所数	2,618
従業者数	60,348人
製造品出荷額等(従業者4人以上)	3兆35億円

農 業(令和2.2.1)

総農家数5,189(農家数1,279)

経営耕地面積(農業経営体) 871ha

漁 業(平成30年)

漁業経営体298 漁船41隻

就業者数(令和2.10.1)563,681人

第1次産業	4,755人
-------	--------

農業、林業4,338人 漁業417人
第2次産業 118,098人
 飲食、採石産業、砂利採取業37人
 建設業45,372人 製造業72,689人
第3次産業 424,052人
 電気・ガス・熱供給・水道業 4,331人
 情報通信業 16,341人
 運輸業、郵便業 31,561人
 卸売業、小売業 100,337人
 金融業、保険業 14,333人
 不動産業、物品賃貸業 15,863人
 学術研究、専門・技術サービス業 22,078人
 宿泊業、飲食サービス業 30,381人
 生活関連サービス業、娯楽業 18,798人
 教育、学習支援業 29,896人
 医療、福祉 77,848人
 複合サービス事業 3,768人
 サービス業 37,872人
 公務 20,645人
分類不能の産業 16,776人
中央卸売市場(令和3年)
 取扱金額804億円
 青果物430億円(野菜270億円、果実160億円)
 水産物226億円 肉類79億円 花き69億円
広島海外貿易(令和3年)
 輸出額1兆3,368億円 輸入額3,498億円
 金 融(令和3.12.31)
 預金残高 7兆8,067億円
 貸出金残高 7兆206億円
 手形交換高(令和3年) 2兆1,176億円
市民経済計算(令和元年度)
 経済成長率(名目)-2.0% (実質)-2.2%
 国内総生産(名目) 5兆4,262億円
 市民所得(名目) 4兆174億円
 1人当たり市民所得 334万5千円)

5 土木・建築・上・下水道
道路(令和4.4.1)

延長4,438km 面積32.1km²
舗装率(延長比)94.6%
橋りょう(令和4.4.1)
橋りょう数3,003 橋長59,150m
河 川(令和4.4.1)
河川数720本 延長899.6km
公園(令和4.3.31)
都市公園数1,242(994.47ha)
1人当たり都市公園面積8.38m²
住 宅(平成30.10.1)612,100戸
持ち家率52.4% 空家率11.9%
上・下水道(令和4.3.31)
上水道普及率(人口)98.3%
1人1日平均給水量 295リットル
下水道普及率(人口)95.9%

6 運 輸
1日当たり乗車人員(令和3年度)
市内バス(主要10社) 12.8万人
路面電車 7.4万人
宮島線電車市内駅 2.6万人
JR西日本市内駅 16.6万人
(広島駅5.2万人, 横川駅1.4万人)
アストラムライン(新交通システム) 5.3万人
タクシー・ハイヤー 3.6万人
1日当たり乗降客数(令和3年)
広島空港 2,316人
広島港 3,348人
登録自動車台数(令和4.3.31) 67.3万台
乗用 35.5万台 軽自動車 24.0万台
貨物用4.7万台 小型二輪 1.6万台
その他1.5万台
原動機付自転車台数(令和4.4.1)9.0万台

7 教育・文化
文化財(令和4.8.31)
国指定24(うち国宝1)
県指定35 市指定103

図書館(令和4.3.31)
市立13館(蔵書226万冊)
県立2館(蔵書87万冊)

学 校(令和3.5.1)

大学	13校/30,761人
短期大学	4校/1,197人
高等学校	46校/33,031人
中学校	79校/34,129人
小学校	147校/66,255人
幼稚園	84園/9,673人
専修学校	44校/8,310人
各種学校	11校/1,089人
特別支援学校	5校/1,097人

来広観光客数(令和3年)
755万人(うち外国人観光客3万人)

施設利用者数(令和3年度)
広島城/9万人 平和記念資料館/41万人

8 福祉・衛生・環境事業

社会福祉施設(令和3.10.1)

保護施設	1
児童福祉施設	438
(保育所)	188)
老人福祉施設	21

社会福祉

生活保護世帯(令和3年度月平均)	18,430世
原爆死没者名簿奉納累計数(令和4.8.6)	333,907
国民健康保険被保険者(令和4.3.31)	204,587
国民年金被保険者(令和4.3.31)	213,768
	308,021

受給権者

衛 生(令和3年)

死因別死亡数	10,995人
悪性新生物	3,078人
心疾患	1,767人
老衰	1,010人
その他	5,140人

医療機関(令和2、10、1)

病院	84(病床13,740)
一般診療所	1,198
歯科診療所	687

廃棄物(令和3年度)

ごみ収集量	359,785 t
し尿収集量	49,490kl

9 労働

一般職業紹介状況(学卒、パートを除く)
(令和3年平均)

(広島・広島東・可部公共職業安定所管内)

有効求人倍率 1.43

充足率 10.5% 就職率 21.9%

常用労働者(令和3年平均)

(1人平均1か月間、広島県、事業所規模5人以上)

現金給与総額 318,616円

実労働時間数 140.2時間

(うち所定外 11.0時間)

賃金指数(令和3年平均)

(実質、令和2年=100) 101.8

10 物価・家計

物価(令和3年平均)

国内企業物価指数 105.1(対前年比4.8%)

(全国、平成27年=100)

消費者物価指数 99.6(対前年比-0.4%)

(令和2年=100)

家計

(令和3年、年平均1か月間勤労者世帯)

実収入594,913円 消費支出278,255円

(令和元、11.30、二人以上の世帯)

貯蓄1,514万円 負債666万円

11 治安・防災

犯 犯(令和3年)

犯罪認知件数 5,990件

窃盗犯 3,779件 知能犯 493件

粗暴犯	557件	風俗犯	66件
凶悪犯	52件	その他	1,043件
交通事故(人身事故) (令和3年)			
件数2,001件	死者13人	傷者2,307人	
防災 (令和4.3.31)			
消防車(消防ポンプ車等)	148台		
消防船舶	2艇		
救急車	50台		
救急出動(令和3年)	55,688件		
火災(令和3年)	223件(り災人員330人)		

12 **行・財政**

予算(令和4年度)

当初予算額 1兆2,214億円

一般会計	6,589億円
特別会計	4,149億円
企業会計	1,476億円
財産区会計	848万円

一般会計歳入内訳

市税	2,412億円
地方交付税	560億円
国庫支出金	1,418億円
市債	691億円
諸収入	388億円
その他	1,119億円

一般会計歳出内訳

総務費	535億円
民生費	2,164億円
衛生費	740億円
商工費	159億円
土木費	1,041億円
教育費	1,014億円
公債費	399億円
その他	537億円

市職員(令和4.4.1)

市長事務部局	14,895人
市民事務部局	6,219人
消防局	1,348人
議会事務局	42人
行政委員会	6,676人

水道局	610人
市議会議員 (令和4.4.1)	
議員定数54人	現議員49人
13 略年表	
明治22年	市制施行
昭和20年	原子爆弾により壊滅
昭和24年	「広島平和記念都市建設法」公布
昭和36年	広島空港(現広島へリポート)開港
昭和46年	天皇・皇后陛下が広島へ行幸啓
昭和50年	山陽新幹線岡山・博多間開通
	広島東洋カープ初優勝
昭和52年	第1回ひろしまフラワーフェスティバル開催
昭和55年	政令指定都市広島誕生、7区役所開
昭和56年	ローマ法王来広
昭和57年	広島市長、国連軍縮特別総会で核兵廃絶を演説
昭和58年	第17回日市長及び商工会議所会頭会議開催
昭和60年	五日市町を合併、佐伯区役所開所 '85ワールドカップマラソン広島大会開催 第1回世界平和連帯都市市長会議開催 第1回国際ジャーネーションフェスティバル広島大会開催
昭和61年	国際親善広島大会開催
平成元年	市制100周年・築城400年記念事業'87 海と島の博覧会・ひろしま開催
平成5年	広島西飛行場(現広島へリポート)開港
平成6年	広島市立大学開学 第12回アジア競技大会広島1994開催
平成8年	第1回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会開催 ひろしま国体(第51回国民体育大会)開催 おひづる大会ひろしま(第32回全国身体障害者スポーツ大会)開催

平成9年 第14回全国都市緑化ひろしまフェスティバル（グリーンフェスタひろしま'97）開
平成11年 世界音楽祭オガスト・イン・ヒロシマ'99開催
平成12年 第15回国民文化祭・ひろしま2000開
平成13年 紙屋町地下街「シャレオ」開業
広島高速4号線（広島西風新都線）通
第14回全国健康福祉祭広島大会（2000ねんりんピック広島）開催
平成14年 第15回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク広島2002」開催
平成16年 第1回日米都市サミット広島2004開
平成17年 湯来町を合併
平成20年 第7回G8下院議長会議開催
平成21年 （新）広島市民球場開設
平成22年 日本APEC広島高級実務者会合開催
第11回ノーベル平和賞受賞者世界ミット開催
平成25年 第26回全国菓子大博覧会・広島「ひろしま菓子博2013」開催
平成28年 G7外相会合開催
平成29年 賢人会議・国連軍縮会議開催
令和元年 ローマ教皇来広
令和4年 第1回ひろしま国際平和文化祭開催

都 市	政令指定都市移行年月日	面積km ² 令和2年10月1日	国勢調査結果 (令和2年10月1日)	
			総世帯数	人口
札幌市	H47.4.1	1,121.26	969,161	1,973,395
仙台市	H7.4.1	786.35	525,455	1,096,704
さいたま市	H15.4.1	217.43	582,475	1,324,025
千葉市	H4.4.1	271.78	447,982	974,951
川崎市	S47.4.1	144.35	747,452	1,538,262
横浜市	S31.9.1	437.71	1,753,081	3,777,491
相模原市	H22.4.1	328.91	332,770	725,493
新潟市	H19.4.1	726.27	331,272	789,275
静岡市	H17.4.1	411.83	297,421	693,389
浜松市	H19.4.1	1,558.06	320,749	790,718
名古屋市長	S31.9.1	326.50	1,122,103	2,332,176
京都市	S31.9.1	827.83	729,524	1,463,723
大阪市	S31.9.1	225.33	1,469,718	2,852,412
堺市	H18.4.1	149.83	366,079	826,161
神戸市	S31.9.1	557.01	734,920	1,525,152
岡山市	H21.4.1	789.95	327,620	724,691
広島市	S55.4.1	906.69	555,123	1,200,754
北九州市	S38.4.1	491.69	436,245	939,029
福岡市	S47.4.1	343.46	831,124	1,612,392
熊本市	H24.4.1	390.32	326,920	738,865
広島市企業総務局企画調整部政策企画課 （統計分析係）	—	627.53	5,215,850	9,733,276

編集 広島市企業総務局企画調整部政策企画課
（統計分析係）
TEL 082-504-2012
広島市ホームページ
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/>
ご意見などは下記アドレスにお寄せください。
seisakukikaku@city.hiroshima.lg.jp

本書の編集内容について

- 1 本書は、令和3年（2021 年）又は令和3年度（2021年度）の統計資料を主として収録し、その他の年（度）の資料は、時系列比較のため掲げています。また、期間は、資料の有無、性質及び編集の都合により適宜伸縮して収録しています。
- 2 数字の単位は原則として各表の右上に掲げていますが、一見して単位が明らかなものは省略しています。また、単位未満は原則として四捨五入しているため、総数とその内訳の合計とは必ずしも一致しません。
- 3 本書に掲載している統計資料のほか、市ホームページでもより詳細な統計資料を掲載していますので、ご利用ください。

広島市ホームページ「統計情報」

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/toukei/>

登録番号	広 C5-2022-448
名 称	広島市勢要覧 令和 4 年版（2022 年版）
主 管 課	広島市企画総務局企画調整部政策企画課
所 在 地	広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号 (〒730-8586) TEL 082-504-2012（直通）
発行年月	令和 5 年（2023 年）3 月



広島市
Hiroshima City